豊能町
まち・ひと・しごと創生総合戦略
アクションプランに関する
アンケート調査結果報告書

目 次

調査概要 **1**
1. 調査の目的 1
2. 調査の方法 1
3. 回収状況 1
4. 報告書の見方 1

調査結果 **2**
1. 回答者の属性 2
1）性別 2
2）年齢 2
3）職業 3
4）通勤・通学先の状況 3
5）居住地域 4
6）家族の状況 5
7）居住歴 6
8）転入の状況 7
2. 定住・転出の意向等について 12
1）定住・転出意向 12
2）転出意向がある人の状況 14
3. 住まいの状況や住まいに関する意識等について 20
1）住まいの形態 20
2）住まいの築年数 22
3）住まいの満足度 23
4）住まいで困っていること 24
5）現在の住まいでの居住・転居予定等 26
6）現在の持ち家の将来的なあつかい（持ち家に居住する人） 29
7）持ち家の売却・貸与する際に必要と考える支援（持ち家に居住する人） 30
4. コミュニティとの関わりや意識等について 32
1）地域のつながり・交流についての考え 32
2）地域のつながり・交流を持つ・持ちたい目的（地域のつながり等が必要と考える人） 34
3）地域のつながり・交流づくりに向けて参加・参画・利用したい取組・場（地域のつながり等が必要と考える人） 34
5. 地域における「しごと」の創出に関する意識等について 39
1）地域課題を解決するビジネスの創出に向けたワークショップへの関心 39
2）豊能町内での就労意向・働き方 41
6. 豊能町の現状について 44
1）行政サービスに関する情報提供について 44
2）地域活動への参加意向について 44
3）居住地域における地域行事・活動について 45

4）役場の窓口対応について……45
5）子どもを産み育てる環境について……45
6）学校教育について……46
7）地域の歴史や文化の継承について……46
8）人権に関する施策について……46
9）ごみの分別について……47
10）自然環境への配慮について……47
11）高齢者の生活環境について……47
12）障害者の生活環境について……48
13）公共交通機関について……48
7. 人口減少に歯止めをかけ、人口減少・超高齢社会に対応していくための具体的なアイデア……49

調査概要

１．調査の目的

本調査は、「豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略」のアクションプランを策定するための基礎調査として、住民の定住・転出や住まい等に対する、豊能町の現状に対する意識・考え方などを把握することを目的に実施しました。

２．調査の方法

調査対象者	豊能町内在住の 18 歳以上の方
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	平成 28 年１月 30 日（土）～２月 12 日（金）
調査内容	○回答者属性（性別、年齢、職業等） ○定住・転出の意向等 ○住まいの状況や住まいに関する意識等 ○コミュニティとの関わりや意識等 ○地域における「しごと」の創出に関する意識等 ○豊能町の現状についての意識 ○人口減少・超高齢社会に対応していくための具体的なアイデア

３．回収状況

配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
2,000 件	906 件	45.3%	900 件	45.0%

４．報告書の見方

- 調査結果の項目に付加されている番号は関連する調査の設問番号です。
- 図表内に付加されている「n」は質問に対する回答者数です。
- 結果数値は少数点第２位を四捨五入してありますので､内訳の合計が 100%にならないことがあります。
- 複数回答の場合、回答数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が 100%を超えます。
- クロス集計の図表内の「全体」については、年齢層などの不明者数を含みます。
- クロス集計の表内の網掛けは、クロス項目（表側の項目）毎の上位１項目となる選択肢の割合（数値）を示しています。なお、「不明・無回答」は網掛けの対象外です。

調査結果

１．回答者の属性

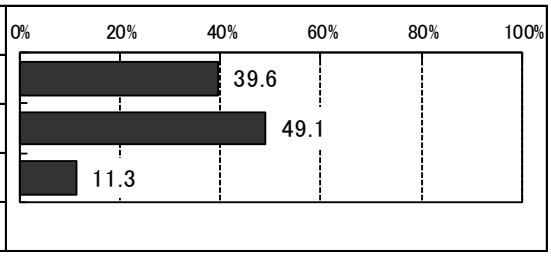
問１　あなた自身やあなたの世帯のことについてお答えください。

１）性別

①あなたの性別は。【○は１つ】

■　性別については、「女性」が 49.1%、「男性」が 39.6%となっています。

区分	
男性	(n=356)
女性	(n=442)
不明・無回答	(n=102)
全体	(n=900)

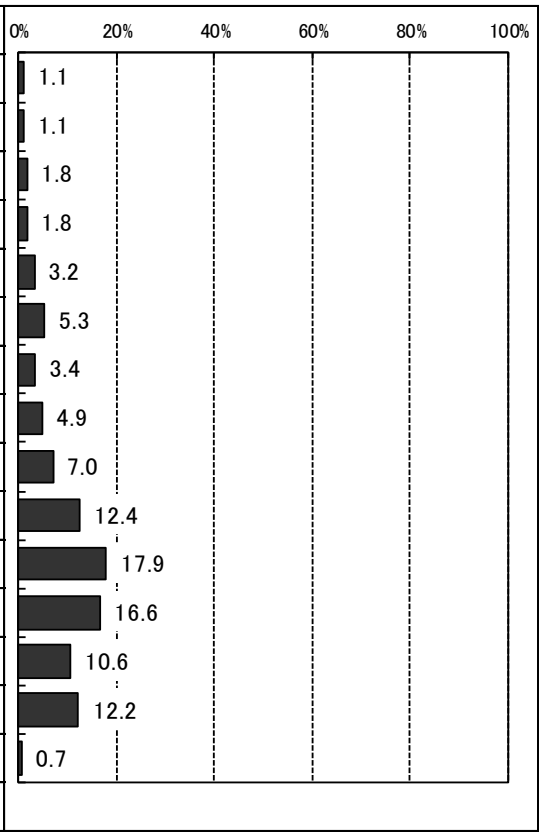


２）年齢

②あなたの年齢は。【○は１つ】

■　年齢については、「65～69 歳」が 17.9%で最も多く、「70～74 歳」(16.6%)、「60～64 歳」(12.4%)がつづいています。

区分	
18・19歳	(n=10)
20～24歳	(n=10)
25～29歳	(n=16)
30～34歳	(n=16)
35～39歳	(n=29)
40～44歳	(n=48)
45～49歳	(n=31)
50～54歳	(n=44)
55～59歳	(n=63)
60～64歳	(n=112)
65～69歳	(n=161)
70～74歳	(n=149)
75～79歳	(n=95)
80歳以上	(n=110)
不明・無回答	(n=6)
全体	(n=900)

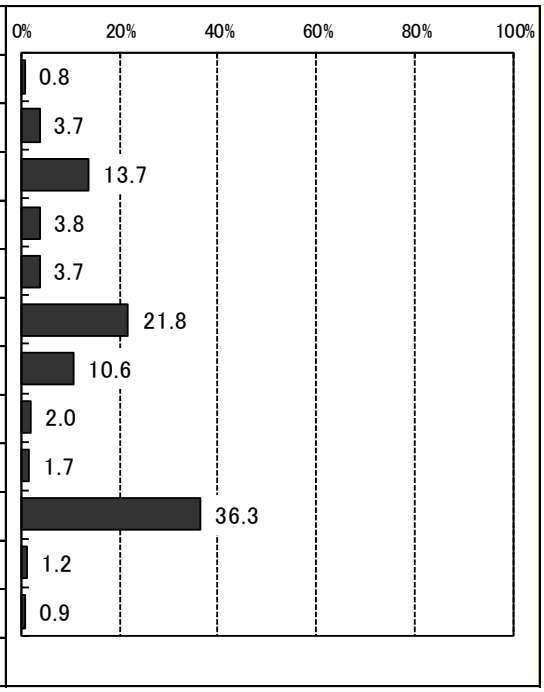


３）職業

③あなたの職業（兼業の方は収入の多い職業）は。【○は１つ】

■　職業については、「無職」が 36.3%で最も多く、「家事専業」(21.8%)、「会社員・団体職員」(13.7%)がつづいています。

区分	
農林業(兼業農家含む)	(n=7)
商工自営業･家族従業者	(n=33)
会社員･団体職員	(n=123)
公務員･教員	(n=34)
専門職(医師、弁護士、芸術家等)	(n=33)
家事専業	(n=196)
パート･アルバイト	(n=95)
派遣･嘱託･契約社員	(n=18)
学生(予備校生含む)	(n=15)
無職	(n=327)
その他	(n=11)
不明･無回答	(n=8)
全体	(n=900)



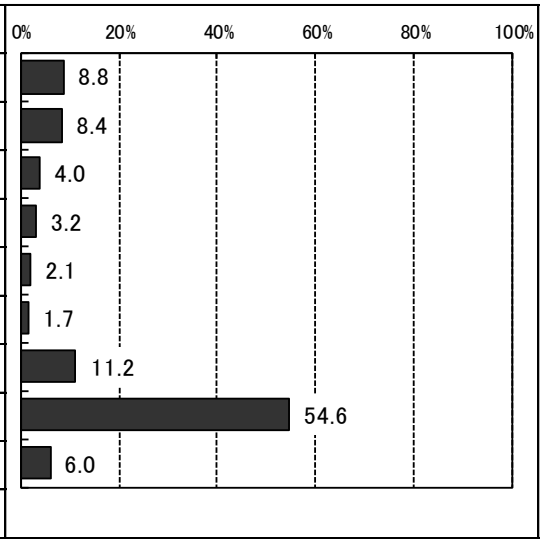
４）通勤・通学先の状況

④どこに通勤・通学していますか。【○は１つ】

■　通勤・通学先の状況については、「通勤・通学していない」が 54.6%で最も多く、「その他」(11.2%)、「豊能町内」(8.8%)がつづいています。なお、「その他」では、茨木市や吹田市、宝塚市、神戸市などが多くなっています。

また、通勤・通学先としては、「豊能町内」が 8.8%で最も多く、「大阪市」(8.4%)、「川西市」(4.0%)がつづきます。

区分	
豊能町内	(n=79)
大阪市	(n=76)
川西市	(n=36)
豊中市	(n=29)
池田市	(n=19)
箕面市	(n=15)
その他	(n=101)
通勤･通学していない	(n=491)
不明･無回答	(n=54)
全体	(n=900)

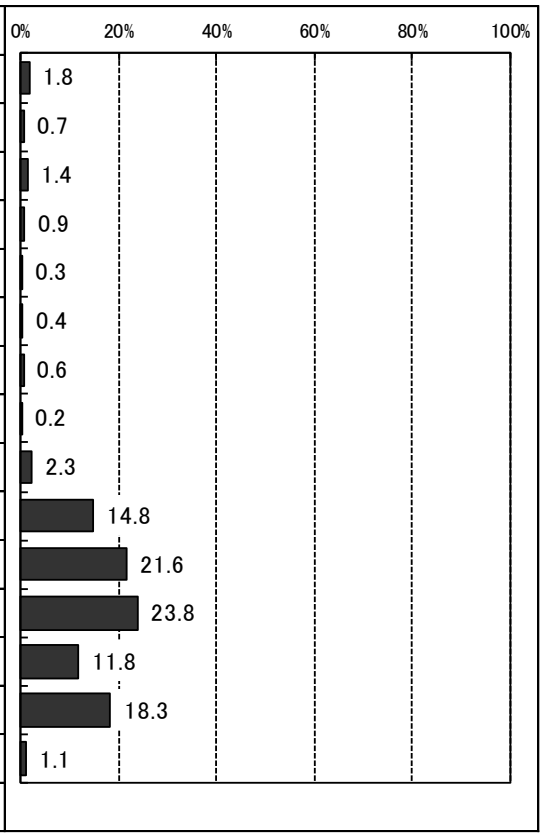


５）居住地域

⑤あなたの居住地域はどちらですか。【○は１つ】

■　居住地域については、「光風台」が 23.8%で最も多く、「東ときわ台」(21.6%)、「新光風台」(18.3%)がつづいています。また、東西地区でみると、東地区は 18.1%、西地区は 80.8%となっています。

区分	
余野	(n=16)
川尻	(n=6)
木代	(n=13)
切畑	(n=8)
野間口	(n=3)
高山	(n=4)
牧	(n=5)
寺田	(n=2)
吉川	(n=21)
ときわ台	(n=133)
東ときわ台	(n=194)
光風台	(n=214)
希望ヶ丘	(n=106)
新光風台	(n=165)
不明・無回答	(n=10)
全体	(n=900)



６）家族の状況

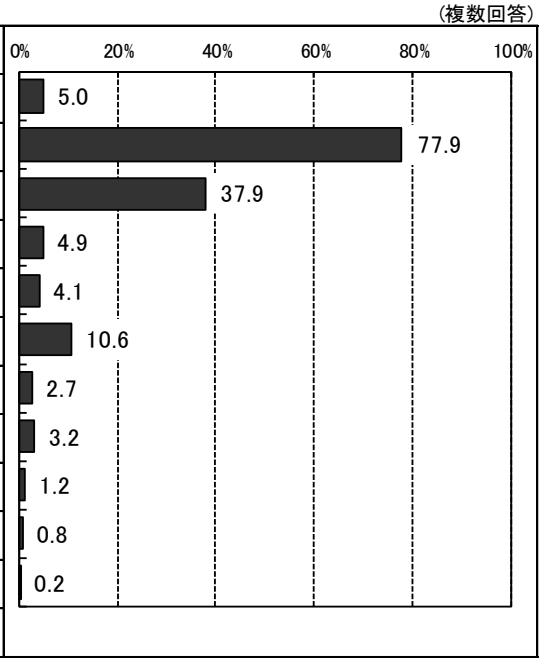
（１）同居家族

⑥あなたと同居されている家族は。【○はいくつでも】

■　居住地域については、「配偶者（夫・妻)」が 77.9%で最も多く、「子ども」(37.9%)、「父母」(10.6%)がつづいています。

(複数回答)

区分	
ひとり暮らし	(n=45)
配偶者(夫・妻)	(n=701)
子ども	(n=341)
子どもの配偶者	(n=44)
孫	(n=37)
父母	(n=95)
配偶者の父母	(n=24)
兄弟・姉妹	(n=29)
祖父・祖母	(n=11)
その他	(n=7)
不明・無回答	(n=2)
全体	(n=900)



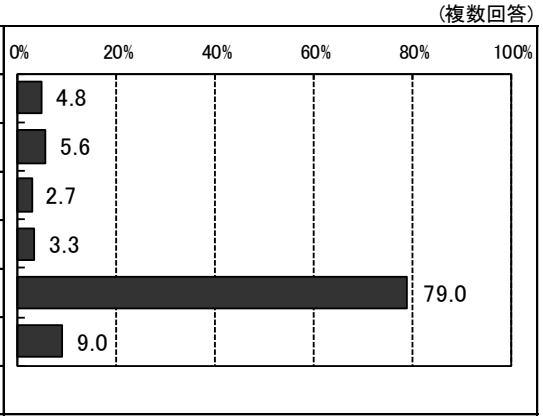
（２）18 歳未満の子どもの状況

⑦あなたに 18 歳未満のお子さんはいますか。【○はいくつでも】

■　18 歳未満の子どもの状況については、「18 歳未満の子どもはいない」が 79.0%で最も多く、「小学生の子どもがいる」(5.6%)、「乳幼児（就学前）がいる」(4.8%)がつづいており、18 歳未満の子どもがいる人（子育て世帯の人）は 12.0%となっています。

(複数回答)

区分	
乳幼児(就学前)がいる	(n=43)
小学生の子どもがいる	(n=50)
中学生の子どもがいる	(n=24)
15～17歳(高校生等)の子どもがいる	(n=30)
18歳未満の子どもはいない	(n=711)
不明・無回答	(n=81)
全体	(n=900)



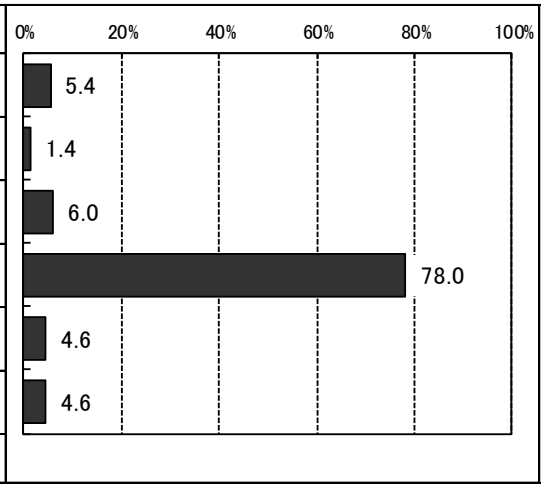
7）居住歴

⑧あなたの居住歴はどれですか。【○は１つ】

■　居住歴については、「町外で生まれて、現在は町内に住んでいる」が 78.0%で最も多く、「仕事・結婚等で町外に出て、現在は町内に住んでいる」(6.0%)、「生まれてからずっと豊能町で住んでいる」(5.4%)がつづいており、転入経験者は 85.4%を占めています。

また、Ｕターン者（「大学等の進学時に町外に出て、現在は町内に住んでいる」もしくは「仕事・結婚等で町外に出て、現在は町内に住んでいる」と回答した人）は 5.4%、Ｉターン者（「町外で生まれて、現在は町内に住んでいる」と回答した人）は 78.0%となっています。

区分	
生まれてからずっと豊能町で住んでいる	(n=49)
大学等の進学時に町外に出て、現在は町内に住んでいる	(n=13)
仕事・結婚等で町外に出て、現在は町内に住んでいる	(n=54)
町外で生まれて、現在は町内に住んでいる	(n=702)
その他	(n=41)
不明・無回答	(n=41)
全体	(n=900)



■　年齢層別で居住歴をみると、18・19 歳・20 歳代では「生まれてからずっと豊能町で住んでいる」、30 歳代以上では「町外で生まれて、現在は町内に住んでいる」が最も多くなっています。また、30～40 歳代では「仕事・結婚等で町外に出て、現在は町内に住んでいる」が他と比べて多くなっています。

Ｕターン者は 30～40 歳代で 20～30%台を占めて、他より多くなっています。一方、Ｉターン者は 40 歳代以上で 70～80%台を占めており、ニュータウン開発時に転入してきた人が多いことがうかがえます。

【居住歴（全体・年齢層別）】

	生まれてからずっと豊能町で住んでいる	大学等の進学時に町外に出て、現在は町内に住んでいる	仕事・結婚等で町外に出て、現在は町内に住んでいる	町外で生まれて、現在は町内に住んでいる	その他	不明・無回答	転入経験者	Uターン者	Iターン者	回答者数
全体	5.4	1.4	6.0	78.0	4.6	4.6	85.4	7.4	78.0	900
18・19歳・20歳代	41.7	8.3	8.3	27.8	11.1	2.8	44.4	16.7	27.8	36
30歳代	11.1	4.4	26.7	51.1	6.7	0.0	82.2	31.1	51.1	45
40歳代	2.5	5.1	16.5	70.9	2.5	2.5	92.4	21.5	70.9	79
50歳代	3.7	3.7	9.3	81.3	1.9	0.0	94.4	13.1	81.3	107
60歳代	2.9	0.0	2.9	87.5	4.4	2.2	90.5	2.9	87.5	273
70歳代	3.3	0.0	3.3	82.8	3.7	7.0	86.1	3.3	82.8	244
80歳以上	6.4	0.0	0.0	75.5	8.2	10.0	75.5	0.0	75.5	110

■　転入経験者のみでUターン者とＩターン者の状況をみると、転入経験者全体ではＩターン者が 91.3%、年齢層別でもＩターン者が多くなっています。

　また、Ｕターン者は30歳代以下で30%台、40歳代で23.3%と、一定の割合を占めています。

【Ｕターン・Ｉターンの状況（転入経験者全体・年齢層別）】

	Uターン者	Iターン者	回答者数
全体	8.7	91.3	769
18･19歳･20歳代	37.5	62.5	16
30歳代	37.8	62.2	37
40歳代	23.3	76.7	73
50歳代	13.9	86.1	101
60歳代	3.2	96.8	247
70歳代	3.8	96.2	210
80歳以上	0.0	100.0	83

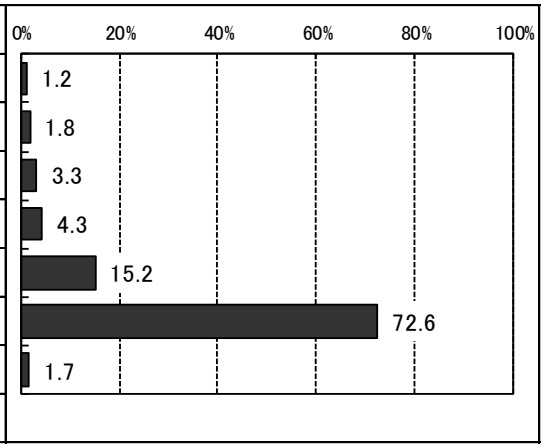
８）転入の状況

（１）転入後の居住期間

問１の⑧で「２」～「４」を選んだ方（転入された方）にお聞きします。
⑨豊能町に転入されて何年になりますか。【○は１つ】

■　転入後の居住期間については、「20年以上」が72.6%で最も多く、「10年以上20年未満」(15.2%)、「５年以上10年未満」(4.3%)がつづいており、転入者のうち転入後の居住期間が10年未満の人は10.6%となっています。

区分	
１年未満	(n=9)
１年以上３年未満	(n=14)
３年以上５年未満	(n=25)
５年以上10年未満	(n=33)
10年以上20年未満	(n=117)
20年以上	(n=558)
不明･無回答	(n=13)
全体	(n=769)



■　年齢層別で転入後の居住期間をみると、18・19歳・20歳代と40歳代では「10年以上20年未満」、30歳代では「５年以上10年未満」、50歳代以上では「20年以上」が最も多くなっています。

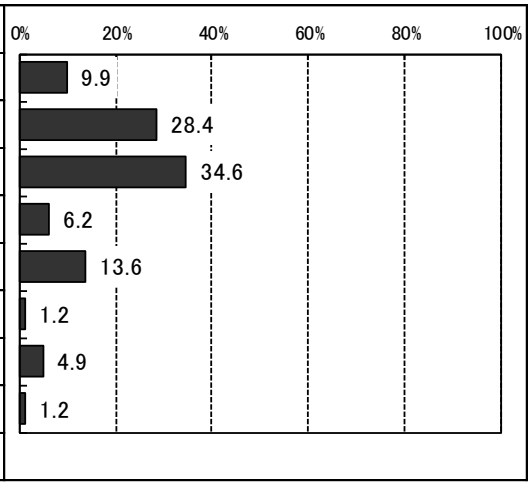
【転入後の居住期間（転入経験者全体・年齢層別）】

	１年未満	１年以上３年未満	３年以上５年未満	５年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	不明･無回答	回答者数
全体	1.2	1.8	3.3	4.3	15.2	72.6	1.7	769
18･19歳･20歳代	0.0	25.0	12.5	12.5	37.5	12.5	0.0	16
30歳代	8.1	10.8	16.2	27.0	10.8	21.6	5.4	37
40歳代	1.4	2.7	13.7	20.5	38.4	23.3	0.0	73
50歳代	1.0	0.0	2.0	2.0	26.7	67.3	1.0	101
60歳代	1.2	1.2	0.8	1.2	10.9	83.8	0.8	247
70歳代	0.0	0.0	0.0	0.5	8.6	88.1	2.9	210
80歳以上	0.0	1.2	3.6	0.0	8.4	84.3	2.4	83

■　転入後の居住期間が 10 年未満の人を年齢層別でみると、40 歳代が 34.6%で最も多く、40 歳代以下が 72.8%を占めています。

【転入後の居住期間が 10 年未満の人の年齢層】

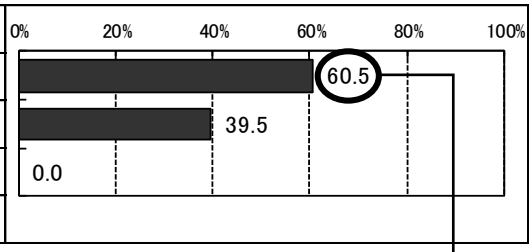
区分	
18・19歳・20歳代	(n=8)
30歳代	(n=23)
40歳代	(n=28)
50歳代	(n=5)
60歳代	(n=11)
70歳代	(n=1)
80歳以上	(n=4)
不明・無回答	(n=1)
全体	(n=81)



■　転入後の居住期間が 10 年未満の人のうち、子育て世帯の人（18 歳未満の子どもがいる人）は 60.5%となっており、そのうちで乳幼児（就学前）の子どもがいる人は 63.3%となっています。

【転入後の居住期間が 10 年未満の人の 18 歳未満の子どもの有無（子育て世帯かどうか）】

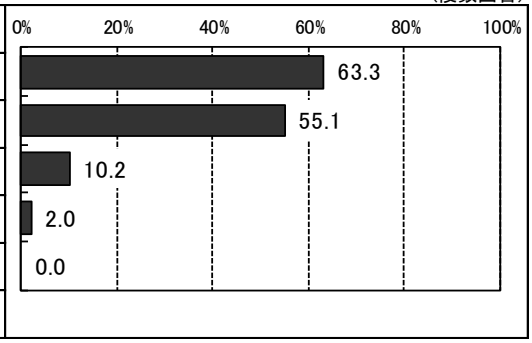
区分	
子育て世帯(18歳未満の子どもがいる)	(n=49)
上記以外	(n=32)
不明・無回答	(n=0)
全体	(n=81)



【転入後の居住期間が 10 年未満の人の 18 歳未満の子どもの有無（子育て世帯かどうか）】

(複数回答)

区分	
乳幼児(就学前)がいる	(n=31)
小学生の子どもがいる	(n=27)
中学生の子どもがいる	(n=5)
15～17歳(高校生等)の子どもがいる	(n=1)
不明・無回答	(n=0)
全体	(n=49)



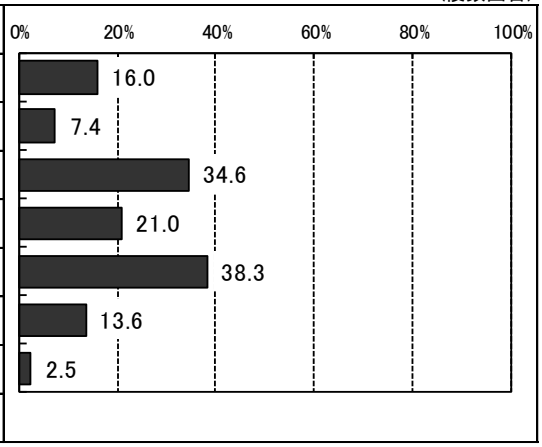
（２）転入理由（転入後居住期間が 10 年未満の人のみ）

問１の⑨で「１」～「４」を選んだ方（転入されて 10 年未満の方）にお聞きします。
⑩転入した理由は何ですか。【○はいくつでも】

■　転入理由については、「住宅の都合」が 38.3%で最も多く、「親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため」(34.6%)、「子どもの都合（子育て・教育）のため」(21.0%)がつづいています。

（複数回答）

区分	
自分・配偶者の仕事の都合のため	(n=13)
結婚のため	(n=6)
親・家族の都合(同居・近居・介護等)のため	(n=28)
子どもの都合(子育て・教育)のため	(n=17)
住宅の都合	(n=31)
その他	(n=11)
不明・無回答	(n=2)
全体	(n=81)



■　年齢層別で転入理由をみると、40 歳代以下では、「住宅の都合」が最も多く、「親・家族の都合」と「子どもの都合」がつづいています。また、　40 歳代以下の転入理由のうち「住宅の都合」の具体的な内容をみると、「(家・土地が) 安い」や「(家・土地が) 広い」といった意見が多くなっています。

【転入理由（転入後居住期間が 10 年未満の人全体・年齢層別)】

	自分・配偶者の仕事の都合のため	結婚のため	親・家族の都合(同居・近居・介護等)のため	子どもの都合(子育て・教育)のため	住宅の都合	その他	不明・無回答	回答者数
全体	16.0	7.4	34.6	21.0	38.3	13.6	2.5	81
18・19歳・20歳代	25.0	0.0	37.5	37.5	25.0	12.5	0.0	8
30歳代	13.0	13.0	39.1	39.1	47.8	13.0	0.0	23
40歳代	17.9	10.7	28.6	17.9	35.7	10.7	3.6	28
50歳代	20.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	5
60歳代	9.1	0.0	18.2	0.0	45.5	27.3	9.1	11
40歳代以下	16.9	10.2	33.9	28.8	39.0	11.9	1.7	59
50歳代以上	9.5	0.0	38.1	0.0	38.1	19.0	4.8	21

■　子育て世帯の人の転入理由をみると、「親・家族の都合」が最も多く、「住宅の都合」と「子どもの都合」がつづいています。また、転入理由について、「子どもの都合」の具体的な内容では「自然環境がよい」と「教育環境がよい」、「住宅の都合」の具体的な内容では「(家・土地が) 安い」と「(家・土地が) 広い」が多くなっています。

【転入理由（転入後居住期間が 10 年未満の人全体・子育て世帯)】

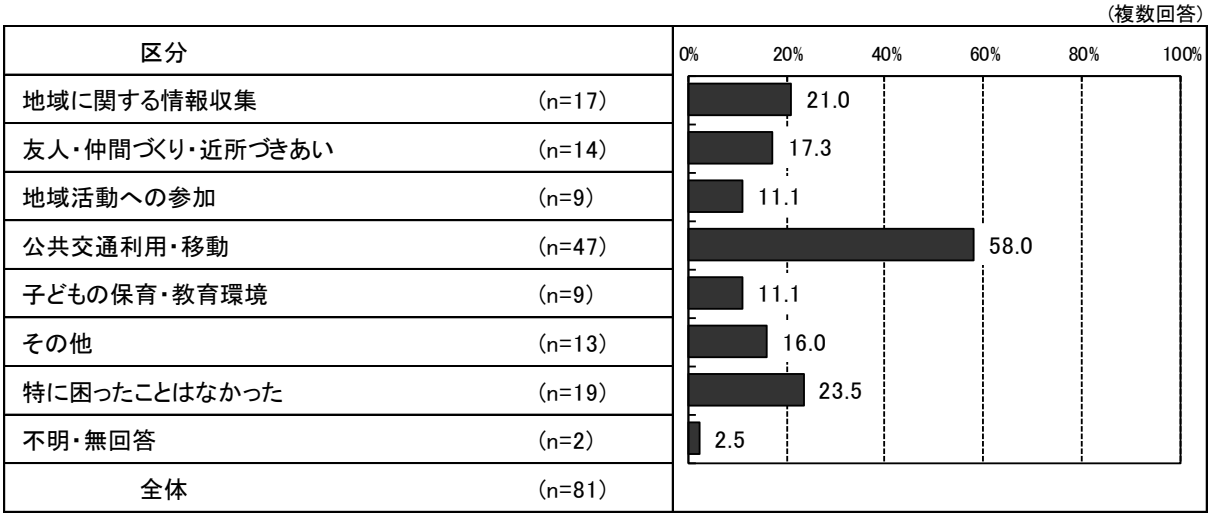
	自分・配偶者の仕事の都合のため	結婚のため	親・家族の都合(同居・近居・介護等)のため	子どもの都合(子育て・教育)のため	住宅の都合	その他	不明・無回答	回答者数
全体	16.0	7.4	34.6	21.0	38.3	13.6	2.5	81
子育て世帯	14.3	10.2	38.8	32.7	36.7	12.2	2.0	49
乳幼児(就学前)がいる	19.4	12.9	38.7	32.3	35.5	12.9	3.2	31
小学生の子どもがいる	11.1	7.4	37.0	33.3	37.0	11.1	3.7	27

（３）転入時・住み始めた時期に困ったこと（転入後の居住期間が 10 年未満の方のみ）

問１の⑨で「１」～「４」を選んだ方（転入されて 10 年未満の方）にお聞きします。
⑪転入する時や住み始めた時期に、困ったことはありましたか。【○はいくつでも】

■　転入時・住み始めた時期に困ったことについては、「公共交通利用・移動」が 58.0%で最も多く、「特に困ったことはなかった」(23.5%)、「地域に関する情報収集」(21.0%)がつづいています。

（複数回答）



■　年齢層別および子育て世帯で、転入時・住み始めた時期に困ったことをみると、全ての年齢層と子育て世帯の人で、「公共交通利用・移動」が最も多くなっています。

【転入時・住み始めた時期に困ったこと（転入後居住期間が 10 年未満の人全体・年齢層別）】

	地域に関する情報収集	友人・仲間づくり・近所づきあい	地域活動への参加	公共交通利用・移動	子どもの保育・教育環境	その他	特に困ったことはなかった	不明・無回答	回答者数
全体	21.0	17.3	11.1	58.0	11.1	16.0	23.5	2.5	81
18・19歳・20歳代	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	8
30歳代	21.7	26.1	8.7	60.9	17.4	13.0	21.7	0.0	23
40歳代	17.9	14.3	14.3	57.1	17.9	10.7	17.9	3.6	28
50歳代	20.0	0.0	0.0	80.0	0.0	40.0	0.0	0.0	5
60歳代	36.4	27.3	18.2	54.5	0.0	27.3	36.4	9.1	11
70歳代	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
80歳以上	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	50.0	25.0	0.0	4

【転入時・住み始めた時期に困ったこと（転入後居住期間が 10 年未満の人全体・子育て世帯）】

	地域に関する情報収集	友人・仲間づくり・近所づきあい	地域活動への参加	公共交通利用・移動	子どもの保育・教育環境	その他	特に困ったことはなかった	不明・無回答	回答者数
全体	21.0	17.3	11.1	58.0	11.1	16.0	23.5	2.5	81
子育て世帯	20.4	18.4	12.2	61.2	18.4	12.2	16.3	2.0	49
乳幼児（就学前）がいる	19.4	22.6	6.5	61.3	16.1	16.1	22.6	3.2	31
小学生の子どもがいる	18.5	14.8	14.8	59.3	18.5	3.7	18.5	3.7	27

（４）転入時・住み始めた時期にあったらよい支援（転入後の居住期間が 10 年未満の方のみ）

問１の⑨で「１」～「４」を選んだ方（転入されて 10 年未満の方）にお聞きします。
⑫転入する時や住み始めた時にあったらよい支援について、ご自由にお書き下さい。

■　転入する時や住み始めた時にあったらよい支援については、延 30 件の意見があり、「日常生活に関するわかりやすい情報提供」が 11 件で最も多く、「公共交通・移動に関する支援（交通費の助成、情報提供等)」が４件、「子育て支援サービスの充実」と「定住・転入に対する支援」がともに３件でつづいています。

意見内容	件数
日常生活に関するわかりやすい情報提供	11
公共交通・移動に関する支援（交通費の助成、情報提供等）	4
子育て支援サービスの充実	3
定住・転入に対する支援（助成金の支給等）	3
商業施設の充実	2
交流の場・機会またはそれらに関する情報の提供	2
煩雑な転入に関する諸手続きの改善	2
その他	3
合計	30

２．定住・転出の意向等について

問２　人口減少に歯止めをかけるためには、町外への転出者数を減少させることが重要となります。そこで、豊能町で転出の抑制に向けた取組を効果的に進めるため、あなたの定住・転出の意向、また、転出意向がある場合はその理由などをお教えください。

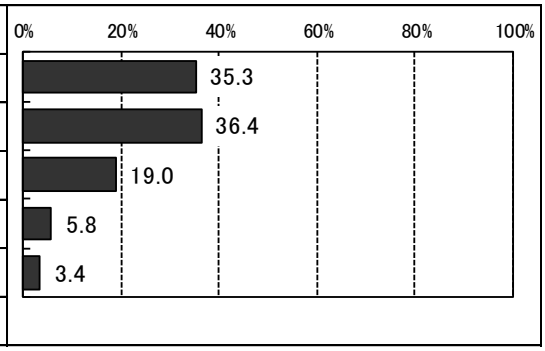
１）定住・転出意向

①あなたは将来も豊能町に住み続けたいと思いますか。【○は１つ】

■　定住・転出意向については、「どちらかというと住み続けたい」が 36.4%で最も多く、「ずっと住み続けたい」（35.3%）、「どちらかというと町外に転出したい」（19.0%）がつづいています。

また、定住意向がある人（「ずっと住み続けたい」もしくは「どちらかというと住み続けたい」と回答した人）は 71.7%、転出意向がある人（「どちらかというと町外に転出したい」もしくは「町外に転出したい」と回答した人）は 24.8%となっています。

区分	
ずっと住み続けたい	(n=318)
どちらかというと住み続けたい	(n=328)
どちらかというと町外に転出したい	(n=171)
町外に転出したい	(n=52)
不明・無回答	(n=31)
全体	(n=900)



■　年齢層別で定住・転出意向をみると、40 歳代以下では「どちらかというと町外に転出したい」、50～60 歳代では「どちらかというと住み続けたい」、70 歳代以上では「ずっと住み続けたい」が最も多くなっています。また、転出意向がある人は、30 歳代以下で 50%前後、40 歳代で 40.5%となっており、若年層で多くなっています。

さらに、「町外に転出したい」とする人（＝強い転出意向がある人）については、全体で 5.8%となっていますが、特に、30 歳代以下では「町外に転出したい」とする人が 10%台後半を占めており、40 歳代以上と比べて強い転出意向がある人が多いことがうかがえます。

【定住・転出意向（全体・年齢層別）】

	ずっと住み続けたい	どちらかというと住み続けたい	どちらかというと町外に転出したい	町外に転出したい	不明・無回答	定住意向がある人	転出意向があるひと	回答者数
全体	35.3	36.4	19.0	5.8	3.4	71.8	24.8	900
18・19歳・20歳代	13.9	27.8	36.1	16.7	5.6	41.7	52.8	36
30歳代	20.0	24.4	31.1	17.8	6.7	44.4	48.9	45
40歳代	21.5	36.7	30.4	10.1	1.3	58.2	40.5	79
50歳代	18.7	46.7	27.1	6.5	0.9	65.4	33.6	107
60歳代	34.8	42.5	17.9	2.9	1.8	77.3	20.9	273
70歳代	45.5	36.1	11.1	4.1	3.3	81.6	15.2	244
80歳以上	53.6	20.9	11.8	3.6	10.0	74.5	15.5	110

■　子育て世帯の人の定住・転出意向をみると、「どちらかというと町外に転出したい」が 35.2%で最も多くなっています。また、乳幼児（就学前）の子どもがいる人では「ずっと住み続けたい」が 34.9%、小学生の子どもいる人では「どちらかというと町外に転出したい」が 40.0%で最も多くなっており、子どもの年齢層で定住・転出意向に違いが生じています。

さらに、「町外に転出したい」とする人（＝強い転出意向がある人）についてみると、中学生の子どもがいる人では 12.5%、高校生の子どもがいる人では 13.3%となっており、中学生以上の子どもがいる人で、強い転出意向がある人が多いことがうかがえます。

【定住・転出意向（全体・子育て世帯）】

	ずっと住み続けたい	どちらかというと住み続けたい	どちらかというと町外に転出したい	町外に転出したい	不明・無回答	定住意向がある人	転出意向があるひと	回答者数
全体	35.3	36.4	19.0	5.8	3.4	71.8	24.8	900
子育て世帯	20.4	35.2	32.4	8.3	3.7	55.6	40.7	108
乳幼児（就学前）がいる	34.9	32.6	18.6	7.0	7.0	67.4	25.6	43
小学生の子どもがいる	12.0	38.0	40.0	6.0	4.0	50.0	46.0	50
中学生の子どもがいる	16.7	41.7	29.2	12.5	0.0	58.3	41.7	24
高校生等の子どもがいる	10.0	43.3	33.3	13.3	0.0	53.3	46.7	30

２）転出意向がある人の状況

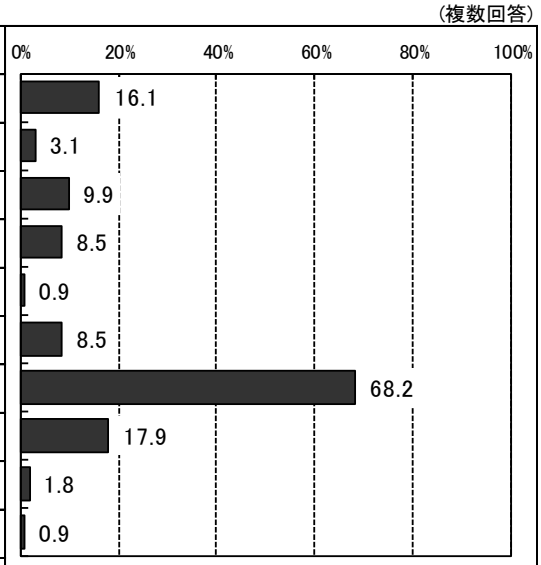
（１）転出したい理由

問２の①で「３」「４」を選んだ方（転出意向がある方）にお聞きします。
②転出したい理由は何ですか。【○はいくつでも】

■　転出したい理由については、「日常生活の都合」が 68.2%で最も多く、「その他」(17.9%)、「自分・配偶者の仕事の都合のため」(16.1%)がつづいています。なお、「その他」では、「税金や公共料金が高い」「町に魅力がない」といった内容が多くなっています。

（複数回答）

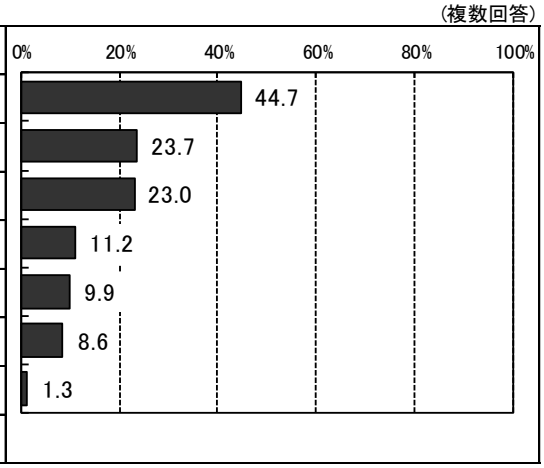
区分	
自分・配偶者の仕事の都合のため	(n=36)
自分の進学・通学等のため	(n=7)
子どもの都合（進学・通学等）のため	(n=22)
親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため	(n=19)
結婚のため	(n=2)
住宅の都合	(n=19)
日常生活の都合	(n=152)
その他	(n=40)
特に理由はない	(n=4)
不明・無回答	(n=2)
全体	(n=223)



■　転出したい理由として最も多い「日常生活の都合」の具体的な内容をみると、「交通の便が悪い・交通費がかかる」が 44.7%で最も多く、「買い物が不便・商業施設が少ない・ない」(23.7%)、「医療機関が少ない・ない」(23.0%) がつづいています。

（複数回答）

区分	
交通の便が悪い・交通費がかかる	(n=68)
買物が不便・商業施設が少ない・ない	(n=36)
医療機関が少ない・ない	(n=35)
全般的に生活が不便	(n=17)
高齢になると生活しづらい	(n=15)
坂道が多く生活しづらい	(n=13)
近所づきあいが大変	(n=2)
全体	(n=152)



■　年齢層別で転出したい理由をみると、年齢に関係なく「日常生活の都合」が最も多くなっています。

ただし、「仕事の都合」と「自分の進学・通学等のため」では 20 歳代以下、「子どもの都合のため」では子育て世帯の人が多い 30～40 歳代、「家族の都合（同居・近居・介護等）のため」では 80 歳以上が、他より多くなっています。

【転出したい理由（転出意向がある人全体・年齢層別）】

	自分・配偶者の仕事の都合のため	自分の進学・通学等のため	子どもの都合（進学・通学等）のため	親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため	結婚のため	住宅の都合	日常生活の都合	その他	特に理由はない	不明・無回答	回答者数
全体	15.7	3.1	9.9	7.2	0.9	8.5	68.6	24.2	1.8	0.9	223
18・19歳・20歳代	47.4	26.3	0.0	0.0	0.0	0.0	57.9	0.0	0.0	0.0	19
30歳代	27.3	0.0	31.8	0.0	4.5	4.5	72.7	22.7	0.0	0.0	22
40歳代	18.8	6.3	28.1	3.1	3.1	6.3	59.4	31.3	0.0	3.1	32
50歳代	19.4	0.0	8.3	8.3	0.0	13.9	61.1	30.6	2.8	0.0	36
60歳代	10.5	0.0	1.8	10.5	0.0	10.5	77.2	22.8	0.0	0.0	57
70歳代	2.7	0.0	0.0	2.7	0.0	10.8	75.7	24.3	5.4	2.7	37
80歳以上	0.0	0.0	0.0	29.4	0.0	5.9	64.7	29.4	5.9	0.0	17

■　子育て世帯の人の転出したい理由をみると、「日常生活の都合」が 59.1%で最も多くなっており、「子どもの都合（進学・通学等）のため」が 43.2%でつづいています。また、中学生の子どもがいる人では、「子どもの都合（進学・通学等）のため」が最も多くなっています。

なお、子育て世帯の人で転出したい理由として上位に挙がっている「子どもの都合」について、その具体的な内容をみると、通学時間や交通費（通学費）など公共交通に関することがほとんどを占めています。

【転出したい理由（転出意向がある人全体・子育て世帯）】

	自分・配偶者の仕事の都合のため	自分の進学・通学等のため	子どもの都合（進学・通学等）のため	親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため	結婚のため	住宅の都合	日常生活の都合	その他	特に理由はない	不明・無回答	回答者数
全体	16.1	3.1	9.9	8.5	0.9	8.5	68.2	17.9	1.8	0.9	223
子育て世帯	20.5	4.5	43.2	4.5	0.0	6.8	59.1	22.7	0.0	2.3	44
乳幼児（就学前）がいる	27.3	0.0	54.5	9.1	0.0	9.1	63.6	9.1	0.0	0.0	11
小学生の子どもがいる	17.4	8.7	56.5	0.0	0.0	0.0	60.9	26.1	0.0	4.3	23
中学生の子どもがいる	30.0	10.0	50.0	0.0	0.0	10.0	20.0	40.0	0.0	0.0	10
高校生等の子どもがいる	21.4	0.0	28.6	7.1	0.0	14.3	64.3	21.4	0.0	0.0	14

■　転出意向の強さ別で転出したい理由をみると、「どちらかというと町外に転出したい」とする人と「町外に転出したい」とする人（転出意向が強い人）では、ともに「日常生活の都合」が最も多くなっています。

また、「住宅の都合」では、「町外に転出したい」とする人が 15.4%となっており、「どちらかというと町外に転出したい」とする人（6.4%）を２倍以上上回っています。

【転出したい理由（転出意向がある人全体・転出意向の強さ別）】

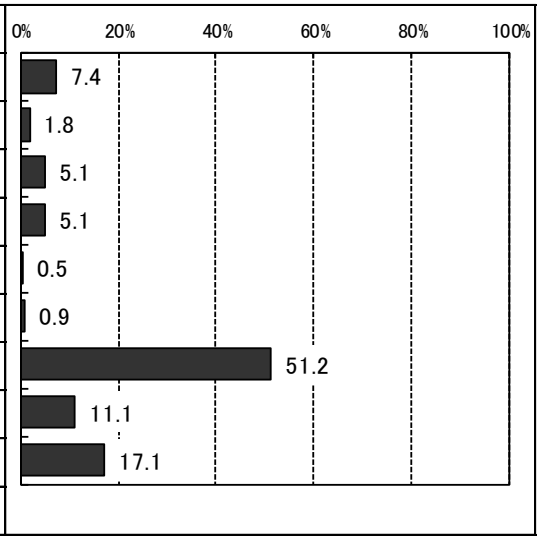
	自分・配偶者の仕事の都合のため	自分の進学・通学等のため	子どもの都合（進学・通学等）のため	親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため	結婚のため	住宅の都合	日常生活の都合	その他	特に理由はない	不明・無回答	回答者数
転出意向がある人全体	15.7	3.1	9.9	7.2	0.9	8.5	68.6	24.2	1.8	0.9	223
どちらかというと町外に転出したい	15.2	2.9	10.5	8.2	0.6	6.4	70.2	19.3	1.8	0.6	171
町外に転出したい	19.2	3.8	7.7	9.6	1.9	15.4	61.5	13.5	1.9	1.9	52

（２）転出したい最も大きな理由（転出したい理由がある人）

問２の①で「３」「４」を選んだ方（転出意向がある方）にお聞きします。
②－１　問２の②で選んだ理由で最も大きな理由は。【番号を右に記入】

■　転出したい最も大きな理由については、「日常生活の都合」が 51.2%で最も多く、「その他」（11.1%）、「自分・配偶者の仕事の都合のため」（7.4%）がつづいており、転出したい理由の集計結果と大きな差異はありません。

区分	
自分･配偶者の仕事の都合のため	(n=16)
自分の進学･通学等のため	(n=4)
子どもの都合（進学･通学等）のため	(n=11)
親･家族の都合（同居･近居･介護等）のため	(n=11)
結婚のため	(n=1)
住宅の都合	(n=2)
日常生活の都合	(n=111)
その他	(n=24)
不明･無回答	(n=37)
全体	(n=217)



■　年齢層別で転出したい最も大きな理由をみると、年齢に関係なく「日常生活の都合」が最も多くなっています。

ただし、「「仕事の都合」と「自分の進学・通学等のため」では 20 歳代以下、「子どもの都合のため」では子育て世帯の人が多い 30～40 歳代、「家族の都合（同居・近居・介護等）のため」では 80 歳以上が、他より多くなっており、転出したい理由の集計結果と大きな差異はありません。

【転出したい最も大きな理由（転出意向がある人全体・年齢層別）】

	自分･配偶者の仕事の都合のため	自分の進学･通学等のため	子どもの都合（進学･通学等）のため	親･家族の都合（同居･近居･介護等）のため	結婚のため	住宅の都合	日常生活の都合	その他	不明･無回答	回答者数
全体	6.9	1.8	5.1	4.6	0.5	0.9	47.5	13.4	19.4	217
18･19歳･20歳代	31.6	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	36.8	0.0	10.5	19
30歳代	9.1	0.0	22.7	0.0	0.0	0.0	40.9	9.1	18.2	22
40歳代	3.2	0.0	16.1	3.2	3.2	0.0	25.8	22.6	25.8	31
50歳代	11.4	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	40.0	20.0	22.9	35
60歳代	3.5	0.0	1.8	8.8	0.0	1.8	59.6	8.8	15.8	57
70歳代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.6	17.6	14.7	34
80歳以上	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0	43.8	12.5	25.0	16

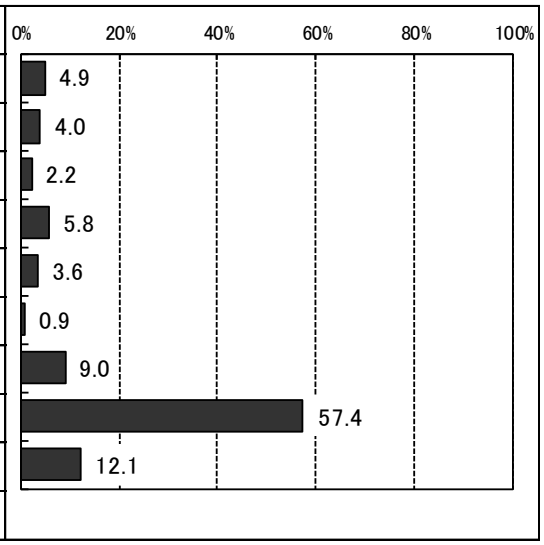
（３）転出予定地

問２の①で「３」「４」を選んだ方（転出意向がある方）にお聞きします。
③転出予定地は。【○は１つ】

■　転出予定地については、「決まっていない」が 57.4%で最も多く、「その他」（9.0%）、「豊中市」（5.8%）がつづいています。なお、「その他」については、吹田市や高槻市が多くなっています。

また、決まっている転出予定地としては、「豊中市」が 5.8%で最も多く、「池田市」（4.9%）、「箕面市」（4.0%）がつづきます。

区分	
池田市	(n=11)
箕面市	(n=9)
川西市	(n=5)
豊中市	(n=13)
大阪市	(n=8)
茨木市	(n=2)
その他	(n=20)
決まっていない	(n=128)
不明・無回答	(n=27)
全体	(n=223)



■　年齢層別で転出予定地をみると、年齢に関係なく「決まっていない」が最も多くなっています。

ただし、「豊中市」では 18・19 歳・20 歳代と 80 歳以上、「池田市」では 30～40 歳代が他より多くなっています。

【転出先（転出意向がある人全体・年齢層別）】

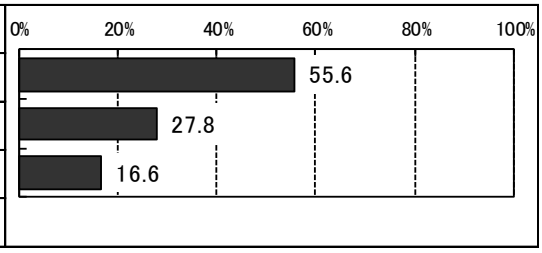
	池田市	箕面市	川西市	豊中市	大阪市	茨木市	その他	決まっていない	不明・無回答	回答者数
全体	4.9	4.0	2.2	5.8	3.6	0.9	9.0	57.4	12.1	223
18・19歳・20歳代	0.0	0.0	5.3	10.5	5.3	0.0	5.3	63.2	10.5	19
30歳代	13.6	4.5	4.5	4.5	4.5	0.0	4.5	59.1	4.5	22
40歳代	9.4	6.3	3.1	3.1	3.1	0.0	3.1	59.4	12.5	32
50歳代	2.8	5.6	0.0	8.3	2.8	0.0	8.3	66.7	5.6	36
60歳代	5.3	0.0	1.8	1.8	0.0	0.0	10.5	70.2	10.5	57
70歳代	0.0	5.4	2.7	8.1	8.1	2.7	13.5	37.8	21.6	37
80歳以上	5.9	5.9	0.0	11.8	5.9	5.9	17.6	23.5	23.5	17

（４）転出の理由となる事象がない・解決した場合の意識

問２の①で「３」「４」を選んだ方（転出意向がある方）にお聞きします。
④問２の②の理由がなければ、豊能町に住み続けたいと思いますか。【○は１つ】

■　転出の理由となる事象がない・解決した場合の意識については、「住み続けたい・転出しようとは思わない」が 55.6%、「転出したい」が 27.8%となっています。

区分	
住み続けたい・転出しようとは思わない	(n=124)
転出したい	(n=62)
不明・無回答	(n=37)
全体	(n=223)



■　転出したい理由別で転出の理由となる事象がない・解決した場合の意識をみると、「子どもの都合のため」という理由が解決した場合、「住み続けたい・転出しようとは思わない」とする人が 72.7%となっており、他の理由と比べて転出を思いとどまる人が多くなっています。（回答者数が 10 人以下の理由については参考値として記載）

【転出の理由となる事象がない・解決した場合の意識（転出意向がある人全体・転出したい理由別）】

	住み続けたい・転出しようとは思わない	転出したい	不明・無回答	回答者数
全体	55.6	27.8	16.6	223
自分・配偶者の仕事の都合のため	62.9	22.9	14.3	35
自分の進学・通学等のため	42.9	57.1	0.0	7
子どもの都合（進学・通学等）のため	72.7	22.7	4.5	22
親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため	62.5	25.0	12.5	16
結婚のため	100.0	0.0	0.0	2
住宅の都合	57.9	42.1	0.0	19
日常生活の都合	60.8	24.8	14.4	153
その他	53.7	24.1	22.2	54
特に理由はない	0.0	50.0	50.0	4

■　転出意向の強さ別で転出の理由となる事象がない・解決した場合の意識をみると、「どちらかというと町外に転出したい」とする人では、「住み続けたい・転出しようとは思わない」が 62.0%、「町外に転出したい」とする人（転出意向が強い人）では「転出したい」が 48.1%で多くなっています。

一方、転出意向が強い人でも、転出したい理由が解決した場合、「住み続けたい・転出しようとは思わない」が 34.6%となっています。

【転出の理由となる事象がない・解決した場合の意識（転出意向がある人全体・転出意向の強さ別）】

	住み続けたい・転出しようとは思わない	転出したい	不明・無回答	回答者数
全体	55.6	27.8	16.6	223
どちらかというと町外に転出したい	62.0	21.6	16.4	171
町外に転出したい	34.6	48.1	17.3	52

■　子育て世帯の人については、転出の理由・要因がない・解決した場合、「住み続けたい・転出しようとは思わない」が 72.7%となっており、転出意向がある人全体と比べて転出を思いとどまる人が多くなっています。

また、「住み続けたい・転出しようとは思わない」では、小学生の子どもがいる人が 78.3%、高校生等の子どもがいる人で 85.7%となっており、他と比べて多くなっています。

【転出の理由となる事象がない・解決した場合の意識（転出意向がある人全体・子育て世帯）】

	住み続けたい・転出しようとは思わない	転出したい	不明・無回答	回答者数
全体	55.6	27.8	16.6	223
子育て世帯	72.7	22.7	4.5	44
乳幼児（就学前）がいる	54.5	45.5	0.0	11
小学生の子どもがいる	78.3	17.4	4.3	23
中学生の子どもがいる	60.0	20.0	20.0	10
高校生等の子どもがいる	85.7	7.1	7.1	14

３．住まいの状況や住まいに関する意識等について

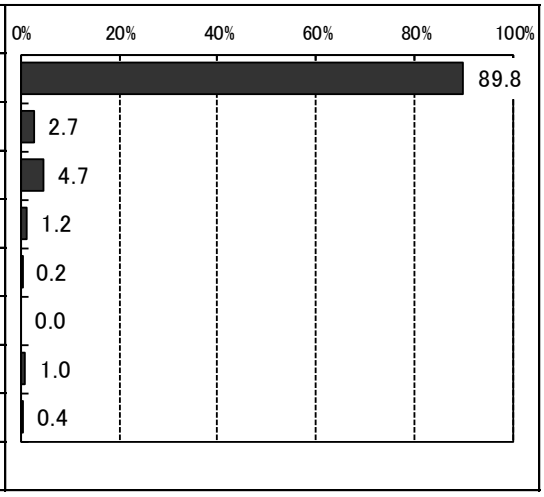
問３　豊能町では賃貸住宅が極端に少なく、持ち家の延べ面積が広いなど「住まい」に偏りが生じており、特に若年層の住宅に関する選択肢が少ないことが問題となっています。そこで、豊能町で住宅の多様化や既存住宅の流通促進を図るため、あなたの住まいの状況や住まいに関する意識などをお教えください。

１）住まいの形態

①現在のお住まいの形態は。【○は１つ】

■　住まいの形態については、「持ち家（一戸建て）」が 89.8%で最も多く、「親などの持ち家に同居」(4.7%)、「持ち家（マンション）」(2.7%)がつづいています。

区分	
持ち家（一戸建て）	(n=808)
持ち家（マンション）	(n=24)
親などの持ち家に同居	(n=42)
賃貸・借家（一戸建て）	(n=11)
賃貸・借家（マンション等）	(n=2)
社宅等の給与住宅	(n=0)
その他	(n=9)
不明・無回答	(n=4)
全体	(n=900)



■　年齢層別で住まいの形態をみると、18・19 歳・20 歳代では「親などの持ち家に同居」、30 歳代以上では「持ち家（一戸建て）」が最も多くなっています。

また、「親などの持ち家に同居」では 30 歳代（24.4%）が 40 歳代以上と比べて多いことから、年齢とともに、「親などの持ち家に同居」から「持ち家（一戸建て）」へと住まいの形態が変化していることがわかります。

【住まいの形態（全体・年齢層別）】

	持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション）	親などの持ち家に同居	賃貸・借家（一戸建て）	賃貸・借家（マンション等）	社宅等の給与住宅	その他	不明・無回答	回答者数
全体	89.8	2.7	4.7	1.2	0.2	0.0	1.0	0.4	900
18・19歳・20歳代	36.1	0.0	55.6	2.8	2.8	0.0	0.0	2.8	36
30歳代	71.1	0.0	24.4	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	45
40歳代	86.1	2.5	7.6	2.5	0.0	0.0	1.3	0.0	79
50歳代	92.5	2.8	0.9	2.8	0.0	0.0	0.9	0.0	107
60歳代	92.7	5.1	0.4	0.7	0.0	0.0	1.1	0.0	273
70歳代	97.1	1.2	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.8	244
80歳以上	90.9	1.8	1.8	0.9	0.0	0.0	3.6	0.9	110

■　世帯別で住まいの形態をみると、子育て世帯の人では「持ち家（一戸建て）」が 88.0%で最も多くなっています。また、「親などの持ち家に同居」では、乳幼児の子どもがいる人で 9.3%、小学生の子どもがいる人で 8.0%となっており、他より多くなっています。

高齢者ひとり暮らしの人と高齢者夫婦のみ世帯の人についても、ともに「持ち家（一戸建て）」が最も多くなっていますが、「持ち家（マンション）」では高齢者ひとり暮らしの人が他より多くなっています。

【住まいの形態（全体・世帯別）】

	持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション）	親などの持ち家に同居	賃貸・借家（一戸建て）	賃貸・借家（マンション等）	社宅等の給与住宅	その他	不明・無回答	回答者数
全体	89.8	2.7	4.7	1.2	0.2	0.0	1.0	0.4	900
子育て世帯	88.0	1.9	7.4	0.9	0.9	0.0	0.9	0.0	108
乳幼児（就学前）がいる	86.0	2.3	9.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	43
小学生の子どもがいる	86.0	4.0	8.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	50
中学生の子どもがいる	87.5	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	24
高校生等の子どもがいる	93.3	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	3.3	0.0	30
高齢者ひとり暮らし	88.9	5.6	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	36
高齢者夫婦のみ世帯	97.1	2.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	407

■　転入経験者について、転入後の期間別で住まいの形態をみると、期間に関係なく「持ち家（一戸建て）」が最も多くなっています。ただし、「親などの持ち家に同居」では、転入後の期間が３年未満の人が 20～30%程度を占めており、３年以上の人と比べて多くなっています。

このことから、転入後に多くの人は「持ち家（一戸建て）」に住むものの、「親などの持ち家で同居」する人もおり、そのような人も転入後３年を１つの契機に住まいの形態が変化していることがうかがえます。

【住まいの形態（転入経験者全体・転入後の期間別）】

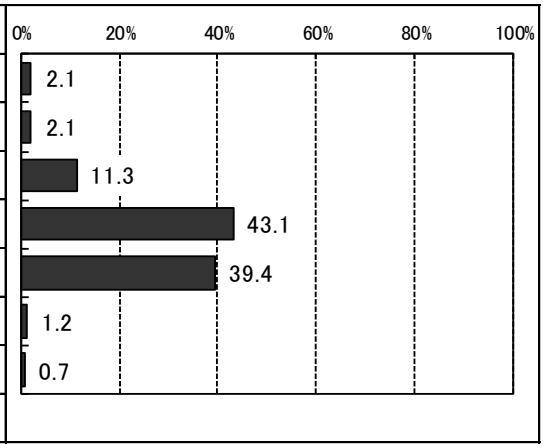
	持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション）	親などの持ち家に同居	賃貸・借家（一戸建て）	賃貸・借家（マンション等）	社宅等の給与住宅	その他	不明・無回答	回答者数
全体	89.8	2.7	4.7	1.2	0.2	0.0	1.0	0.4	900
1年未満	77.8	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9
1年以上3年未満	71.4	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14
3年以上5年未満	88.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	25
5年以上10年未満	84.8	3.0	6.1	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	33
10年以上20年未満	84.6	2.6	4.3	3.4	0.0	0.0	2.6	2.6	117
20年以上	93.9	2.9	2.0	0.7	0.0	0.0	0.4	0.2	558

２）住まいの築年数

②現在のお住まいの築年数は。【○は１つ】

■　現在の住まいの築年数については、「20 年以上 30 年未満」が 43.1%で最も多く、「30 年以上」(39.4%)、「10 年以上 20 年未満」(11.3%)がつづいています。

区分	
５年未満	(n=19)
５年以上10年未満	(n=19)
10年以上20年未満	(n=102)
20年以上30年未満	(n=388)
30年以上	(n=355)
わからない	(n=11)
不明・無回答	(n=6)
全体	(n=900)



■　年齢層別で住まいの築年数をみると、60 歳代以下では「20 年以上 30 年未満」、70 歳代以上では「30 年以上」が最も多くなっています。また、「５年以上 10 年未満」では 30 歳代、「10 年以上 20 年未満」では 40～50 歳代が他と比べて多くなっています。

【住まいの形態（全体・年齢層別）】

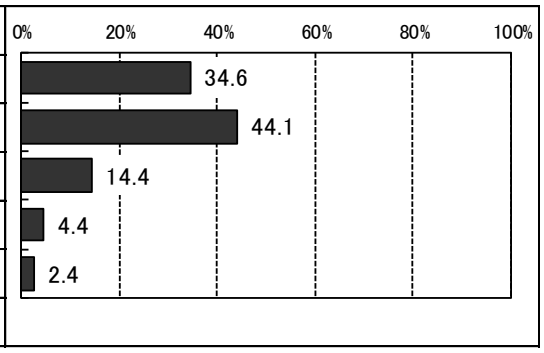
	5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	わからない	不明・無回答	20年以上	回答者数
全体	2.1	2.1	11.3	43.1	39.4	1.2	0.7	54.4	900
18・19歳・20歳代	2.8	2.8	8.3	61.1	13.9	8.3	2.8	69.4	36
30歳代	8.9	15.6	15.6	35.6	24.4	0.0	0.0	51.1	45
40歳代	8.9	7.6	27.8	32.9	21.5	1.3	0.0	60.8	79
50歳代	0.9	0.9	19.6	56.1	21.5	0.9	0.0	75.7	107
60歳代	1.1	0.7	8.8	49.8	38.5	0.7	0.4	58.6	273
70歳代	0.4	0.4	6.6	38.9	51.2	1.6	0.8	45.5	244
80歳以上	1.8	0.9	7.3	28.2	60.0	0.0	1.8	35.5	110

３）住まいの満足度

③現在のお住まいの満足度は。【○は１つ】

■　現在の住まいに対する満足度については、「まあ満足している」が 44.1%で最も多く、「満足している」(34.6%)、「やや不満である」(14.4%)がつづいており、満足している人（「満足している」もしく「まあ満足している」と回答した人）が 78.7%となっています。

区分	
満足している	(n=311)
まあ満足している	(n=397)
やや不満である	(n=130)
不満である	(n=40)
不明・無回答	(n=22)
全体	(n=900)



■　住まいの形態別で住まいの満足度をみると、持ち家（一戸建て）と持ち家（マンション）では「まあ満足している」、親などの持ち家に同居と賃貸・借家（一戸建て）では「満足している」が最も多くなっています。また、持ち家（マンション）では、住まいに満足している人が 95.8%と他より多くなっています。

【住まいの満足度（全体・住まいの形態別）】

	満足している	まあ満足している	やや不満である	不満である	不明・無回答	満足している人	回答者数
全体	34.6	44.1	14.4	4.4	2.4	78.7	900
持ち家（一戸建て）	33.8	44.7	15.2	4.0	2.4	78.5	808
持ち家（マンション）	37.5	58.3	0.0	4.2	0.0	95.8	24
親などの持ち家に同居	47.6	35.7	9.5	7.1	0.0	83.3	42
賃貸・借家（一戸建て）	36.4	36.4	9.1	18.2	0.0	72.7	11

■　住まいの築年数別で住まいの満足度をみると、築年数５年未満の人では「満足している」が 78.9%で最も多く、築年数５年以上の人と比べても多くなっています。また、築年数５年未満の人では、住まいに満足している人も 94.7%と、築年数５年以上と比べて満足度が高くなっています。

【住まいの満足度（全体・住まいの築年数別）】

	満足している	まあ満足している	やや不満である	不満である	不明・無回答	満足している人	回答者数
全体	34.6	44.1	14.4	4.4	2.4	78.7	900
5年未満	78.9	15.8	5.3	0.0	0.0	94.7	19
5年以上10年未満	31.6	42.1	26.3	0.0	0.0	73.7	19
10年以上20年未満	46.1	38.2	9.8	5.9	0.0	84.3	102
20年以上30年未満	30.9	50.0	15.7	2.3	1.0	80.9	388
30年以上	33.2	41.7	14.9	6.2	3.9	74.9	355
わからない	36.4	36.4	0.0	27.3	0.0	72.7	11

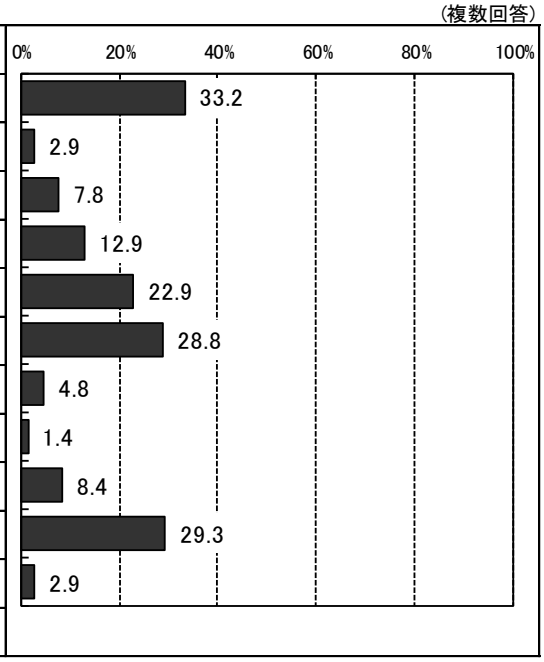
4）住まいで困っていること

④現在のお住まいで困っていることは。【○はいくつでも】

■　現在の住まいで困っていることについては、「家の老朽化」が 33.2%で最も多く、「困っていることはない」(29.3%)、「住宅の管理・手入れに手間がかかる」(28.8%)がつづいています。なお、住まいで困っていることがある人は 67.8%（全体から「困っていることはない」と不明・無回答の割合を引いた値）となっています。

（複数回答）

区分	
家の老朽化	(n=299)
家が狭い	(n=26)
家が広すぎる	(n=70)
間取りが悪い・収納不足	(n=116)
バリアフリーでない	(n=206)
住宅の管理・手入れに手間がかかる	(n=259)
家賃や住宅ローンが高い	(n=43)
プライベートな空間がない	(n=13)
その他	(n=76)
困っていることはない	(n=264)
不明・無回答	(n=26)
全体	(n=900)



■　年齢層別で現在の住まいで困っていることをみると、30～60 歳代では「家の老朽化」、18・19・20 歳代と 70 歳代以上では「困っていることはない」が最も多くなっています。

また、「家賃や住宅ローンが高い」では 50 歳代以下が 10～20%程度を占めており、他より多くなっています。

【現在の住まいで困っていること（全体・年齢層別）】

	家の老朽化	家が狭い	家が広すぎる	間取りが悪い・収納不足	バリアフリーでない	住宅の管理・手入れに手間がかかる	家賃や住宅ローンが高い
全体	33.2	2.9	7.8	12.9	22.9	28.8	4.8
18・19歳・20歳代	22.2	11.1	5.6	16.7	8.3	19.4	11.1
30歳代	37.8	2.2	4.4	24.4	11.1	33.3	11.1
40歳代	41.8	7.6	5.1	24.1	20.3	32.9	19.0
50歳代	43.0	1.9	8.4	20.6	26.2	28.0	10.3
60歳代	32.6	2.9	7.7	12.1	27.1	31.9	0.7
70歳代	29.9	0.8	9.0	6.6	23.0	27.0	2.0
80歳以上	24.5	2.7	9.1	7.3	20.0	22.7	0.9

	プライベートな空間がない	その他	困っていることはない	不明・無回答	何らかの理由で困っていることがある人	合計
全体	1.4	8.4	29.3	2.9	67.8	900
18・19歳・20歳代	11.1	5.6	50.0	2.8	47.2	36
30歳代	0.0	11.1	24.4	0.0	75.6	45
40歳代	1.3	10.1	19.0	0.0	81.0	79
50歳代	2.8	6.5	20.6	0.9	78.5	107
60歳代	1.5	9.5	29.7	2.2	68.1	273
70歳代	0.0	8.2	32.8	3.7	63.5	244
80歳以上	0.9	7.3	33.6	8.2	58.2	110

■　住まいの形態別で現在の住まいで困っていることをみると、持ち家（一戸建て）と賃貸・借家（一戸建て）では「家の老朽化」、持ち家（マンション）と親などの持ち家に同居、賃貸・借家（一戸建て）では「困っていることはない」が最も多くなっています。（賃貸・借家（一戸建て）は同値）

また、「住宅の管理・手入れに手間がかかる」では持ち家（一戸建て）の人、「間取りが悪い・収納不足」や「家が狭い」「プライベートな空間がない」では親などの持ち家に同居の人が、他より多くなっています。

【現在の住まいで困っていること（全体・住まいの形態別）】

	家の老朽化	家が狭い	家が広すぎる	間取りが悪い・収納不足	バリアフリーでない	住宅の管理・手入れに手間がかかる	家賃や住宅ローンが高い
全体	33.2	2.9	7.8	12.9	22.9	28.8	4.8
持ち家（一戸建て）	34.0	2.5	7.8	12.9	23.3	30.7	4.6
持ち家（マンション）	29.2	0.0	0.0	4.2	29.2	0.0	4.2
親などの持ち家に同居	26.2	11.9	2.4	19.0	19.0	16.7	4.8
賃貸・借家（一戸建て）	45.5	0.0	18.2	9.1	18.2	18.2	18.2

	プライベートな空間がない	その他	困っていることはない	不明・無回答	何らかの理由で困っていることがある人	回答者数
全体	1.4	8.4	29.3	2.9	67.8	900
持ち家（一戸建て）	1.1	8.9	27.8	2.6	69.6	808
持ち家（マンション）	0.0	0.0	45.8	8.3	45.8	24
親などの持ち家に同居	7.1	7.1	42.9	0.0	57.1	42
賃貸・借家（一戸建て）	0.0	0.0	45.5	0.0	54.5	11

■　世帯別で現在の住まいで困っていることをみると、子育て世帯の人や高齢者ひとり暮らしの人、高齢者夫婦のみ世帯の人も「家の老朽化」が最も多くなっています。

また、「間取りが悪い・収納不足」や「家が狭い」では子育て世帯の人、「家が広すぎる」では高齢者ひとり暮らし世帯の人、「バリアフリーではない」では高齢者夫婦のみ世帯の人が、他と比べて多くなっています。

【現在の住まいで困っていること（全体・世帯別）】

	家の老朽化	家が狭い	家が広すぎる	間取りが悪い・収納不足	バリアフリーでない	住宅の管理・手入れに手間がかかる	家賃や住宅ローンが高い
全体	33.2	2.9	7.8	12.9	22.9	28.8	4.8
子育て世帯	39.8	8.3	2.8	27.8	16.7	34.3	18.5
乳幼児（就学前）がいる	41.9	4.7	2.3	32.6	11.6	41.9	18.6
小学生の子どもがいる	40.0	8.0	2.0	34.0	12.0	28.0	20.0
中学生の子どもがいる	41.7	8.3	4.2	25.0	16.7	29.2	16.7
高校生等の子どもがいる	36.7	13.3	3.3	23.3	26.7	30.0	16.7
高齢者ひとり暮らし	38.9	0.0	19.4	2.8	13.9	27.8	2.8
高齢者夫婦のみ世帯	29.0	1.2	6.9	9.3	25.1	27.3	1.0

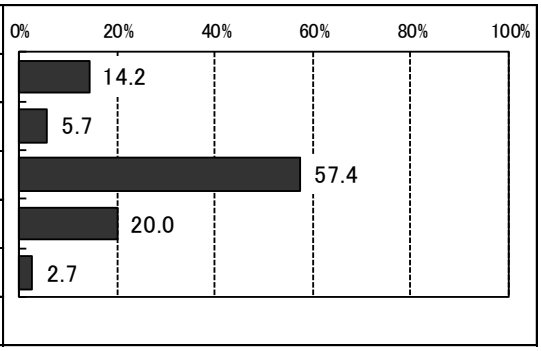
	プライベートな空間がない	その他	困っていることはない	不明・無回答	何らかの理由で困っていることがある人	回答者数
全体	1.4	8.4	29.3	2.9	67.8	900
子育て世帯	2.8	11.1	21.3	0.0	78.7	108
乳幼児（就学前）がいる	2.3	7.0	18.6	0.0	81.4	43
小学生の子どもがいる	2.0	8.0	24.0	0.0	76.0	50
中学生の子どもがいる	0.0	12.5	29.2	0.0	70.8	24
高校生等の子どもがいる	3.3	16.7	23.3	0.0	76.7	30
高齢者ひとり暮らし	0.0	2.8	25.0	8.3	66.7	36
高齢者夫婦のみ世帯	0.5	9.6	33.2	3.2	63.6	407

５）現在の住まいでの居住・転居予定等

⑤今後も現在のお住まいに住み続ける予定ですか。【○は１つ】

■　今後も現在のお住まいに住み続けるかについては、「このまま住み続けたい・住み続ける」が 57.4%で最も多く、「わからない」(20.0%)、「転居したい・する」(14.2%)がつづいています。

区分	
転居したい・する	(n=128)
建替えや増・改築をしたい・する	(n=51)
このまま住み続けたい・住み続ける	(n=517)
わからない	(n=180)
不明・無回答	(n=24)
全体	(n=900)



■　年齢層別で現在の住まいでの居住・転居予定をみると、30 歳代以下では「転居したい・する」、40 歳代以上では「このまま住み続けたい・住み続ける」が最も多くなっています。また、30 歳代は「わからない」も同値で最も多くなっています。

さらに、「このまま住み続けたい・住み続ける」は 60 歳以上、「建替えや増・改築」は 30～50 歳代が、他より多くなっています。なお、「わからない」とする人は 50 歳代以下で 20%以上を占めており、該当する年齢層では居住・転居意向が不確定な人が多いことがうかがえます。

【現在の住まいでの居住・転居予定（全体・年齢層別）】

	転居したい・する	建替えや増・改築をしたい・する	このまま住み続けたい・住み続ける	わからない	不明・無回答	回答者数
全体	14.2	5.7	57.4	20.0	2.7	900
18・19歳・20歳代	41.7	0.0	30.6	25.0	2.8	36
30歳代	26.7	24.4	22.2	26.7	0.0	45
40歳代	17.7	13.9	43.0	21.5	3.8	79
50歳代	14.0	14.0	42.1	27.1	2.8	107
60歳代	12.5	2.2	63.7	19.8	1.8	273
70歳代	9.8	2.9	67.2	17.6	2.5	244
80歳以上	12.7	0.0	69.1	12.7	5.5	110

■　世帯別で現在の住まいでの居住・転居予定をみると、子育て世帯の人や高齢者ひとり暮らしの人、高齢者夫婦のみ世帯の人でも「このまま住み続けたい・住み続ける」が最も多くなっています。

また、「建替えや増・改築」では子育て世帯の人、「このまま住み続けたい・住み続ける」では高齢者ひとり暮らしの人と高齢者夫婦のみ世帯の人が、他より多くなっています。

【現在の住まいでの居住・転居予定（全体・世帯別）】

	転居したい・する	建替えや増・改築をしたい・する	このまま住み続けたい・住み続ける	わからない	不明・無回答	回答者数
全体	14.2	5.7	57.4	20.0	2.7	900
子育て世帯	16.7	19.4	38.9	23.1	1.9	108
乳幼児（就学前）がいる	16.3	20.9	41.9	20.9	0.0	43
小学生の子どもがいる	20.0	14.0	44.0	22.0	0.0	50
中学生の子どもがいる	16.7	25.0	37.5	20.8	0.0	24
高校生等の子どもがいる	20.0	16.7	30.0	26.7	6.7	30
高齢者ひとり暮らし	25.0	5.6	58.3	11.1	0.0	36
高齢者夫婦のみ世帯	11.8	1.7	67.3	17.4	1.7	407

■　転居意向がある人について、定住・転出意向を踏まえて転居地域（町内・町外）をみると、「町外への転居」意向がある人は 80.5%、「町内での転居」意向がある人は 17.2%となっています。

また、年齢層別でみても、年齢に関係なく「町外への転居」意向がある人が多くなっていますが、「町内での転居」意向がある人については、40 歳代（28.6%）で他より多くなっています。

【転居意向がある人の転居地域（転居予定がある人全体・年齢層別）】

	町内での転居	町外への転居	不明・無回答	回答者数
全体	17.2	80.5	2.3	128
18・19歳・20歳代	20.0	80.0	0.0	15
30歳代	16.7	83.3	0.0	12
40歳代	28.6	71.4	0.0	14
50歳代	6.7	93.3	0.0	15
60歳代	20.6	79.4	0.0	34
70歳代	20.8	79.2	0.0	24
80歳以上	0.0	78.6	21.4	14

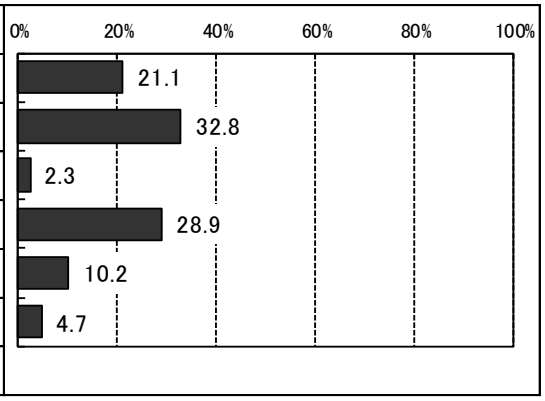
※「町内での転居」は問３－⑤で「転居したい・する」と回答し、問２－①で「定住意向がある人」
「町外への転居」は問３－⑤で「転居したい・する」と回答し、問２－①で「転出意向がある人」

問３の⑤で「１．転居したい・する」を選んだ方（転居意向がある方）にお聞きします。

⑥希望する転居先は。【○は１つ】

■　現在の住まいからの転居意向がある人について、希望する転居先の形態をみると、「持ち家（マンション）」が 32.8%で最も多く、「賃貸・借家（マンション等）」（28.9%）、「持ち家（一戸建て）」（21.1%）がつづいており、一戸建てよりマンションへの転居意向が強いことがうかがえます。

区分	
持ち家（一戸建て）	(n=27)
持ち家（マンション）	(n=42)
賃貸・借家（一戸建て）	(n=3)
賃貸・借家（マンション等）	(n=37)
その他	(n=13)
不明・無回答	(n=6)
全体	(n=128)



■　年齢層別で希望する転居先の形態をみると、18・19 歳・20 歳代と 40 歳代では「賃貸・借家（マンション等）」、30 歳代では「持ち家（一戸建て）」、50～70 歳代では「持ち家（マンション）」、80 歳以上では「その他」が最も多くなっており、年齢によって希望する転居先の住まい形態が異なっています。

また、「持ち家（一戸建て）」では 30 歳代、「賃貸・借家（マンション等）」では 18・19 歳・20 歳代、「その他」では 80 歳以上が、他より多くなっています。

【希望する転居先の住まい形態（転居予定がある人全体・年齢層別）】

	持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション）	賃貸・借家（一戸建て）	賃貸・借家（マンション等）	その他	不明・無回答	回答者数
全体	21.1	32.8	2.3	28.9	10.2	4.7	128
18・19歳・20歳代	20.0	20.0	0.0	46.7	0.0	13.3	15
30歳代	58.3	16.7	0.0	25.0	0.0	0.0	12
40歳代	21.4	28.6	7.1	35.7	7.1	0.0	14
50歳代	20.0	40.0	0.0	33.3	6.7	0.0	15
60歳代	20.6	41.2	0.0	26.5	5.9	5.9	34
70歳代	12.5	45.8	0.0	25.0	12.5	4.2	24
80歳以上	7.1	14.3	14.3	14.3	42.9	7.1	14

■　転居地域（町内・町外）別で希望する転居先の形態をみると、町内での転居意向がある人では「持ち家（一戸建て）」と「持ち家（マンション）」が 36.4%で最も多くなっています。

一方、町外への転居意向がある人は、「賃貸・借家（マンション等）」が 35.0%で最も多く、「持ち家（マンション）」（33.0%）がつづいています。

【希望する転居先の住まい形態（転居予定がある人全体・転居地域（町内外）別）】

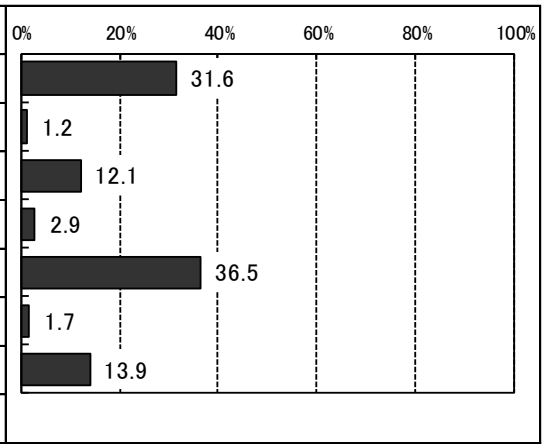
	持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション）	賃貸・借家（一戸建て）	賃貸・借家（マンション等）	その他	不明・無回答	回答者数
転居したい・する人全体	21.1	32.8	2.3	28.9	10.2	4.7	128
町内での転居意向がある人	36.4	36.4	4.5	4.5	13.6	4.5	22
町外への転居意向がある人	18.4	33.0	1.0	35.0	7.8	4.9	103

６）現在の持ち家の将来的なあつかい（持ち家に居住する人）

問３の①で「１」「２」を選んだ方（持ち家の方）にお聞きします。
⑦将来的に現在の持ち家をどうされますか。【○は１つ】

■　将来的に現在の持ち家をどうするかについては、「特に考えていない・わからない」が 36.5%で最も多く、「子どもや親族に売却、賃貸、譲渡したい」（31.6%）、「第三者に売却したい」（12.1%）がつづいています。

区分	
子どもや親族に売却、賃貸、譲渡したい	(n=263)
第三者に賃貸住宅として貸し出したい	(n=10)
第三者に売却したい	(n=101)
自身が定期的に利用したい	(n=24)
特に考えていない・わからない	(n=304)
その他	(n=14)
不明・無回答	(n=116)
全体	(n=832)



■　年齢層別で将来的に現在の持ち家をどうするかをみると、60 歳代以下では「特に考えていない・わからない」、70 歳代以上では「子どもや親族に売却、賃貸、譲渡したい」が最も多くなっています。

また、「子どもや親族に売却、賃貸、譲渡したい」では 70 歳代以上で 40%前後を占めており、特に 50 歳代以下と比べて、子どもや親族に持ち家の継承を考えている人が多くなっています。

ただし、70 歳代以上では「特に考えていない・わからない」とする人も 30%程度を占めており、前述の様に持ち家の継承を考える人と持ち家の対処方法が不確定な人が拮抗しています。

【将来的に現在の持ち家をどうするか（全体・年齢層別）】

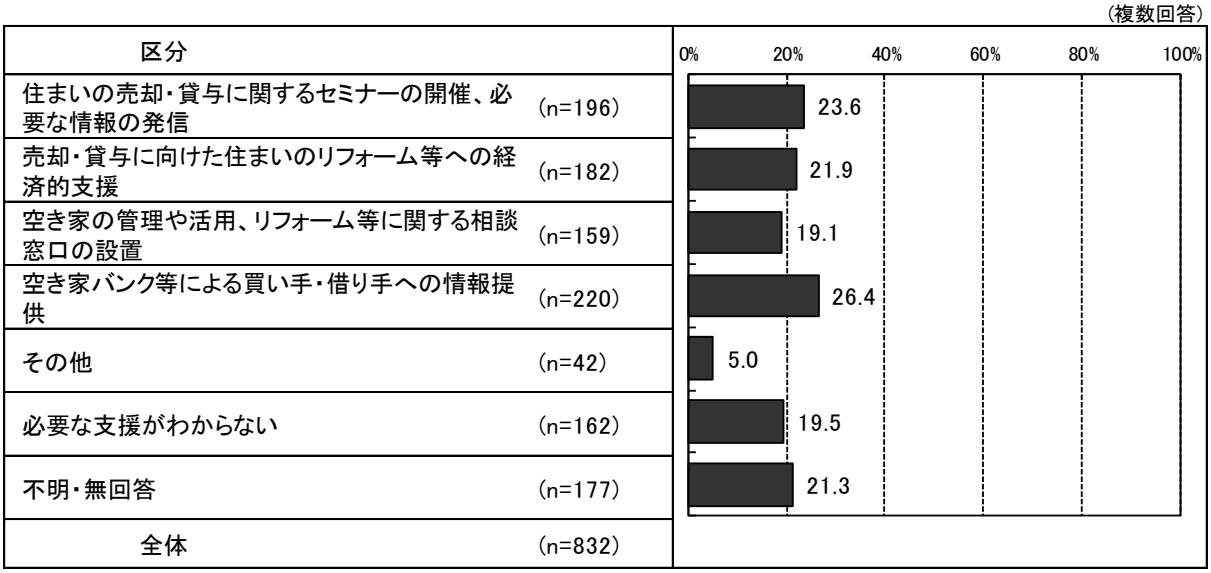
	子どもや親族に売却、賃貸、譲渡したい	第三者に賃貸住宅として貸し出したい	第三者に売却したい	自身が定期的に利用したい	特に考えていない・わからない	その他	不明・無回答	回答者数
全体	31.6	1.2	12.1	2.9	36.5	1.7	13.9	832
18・19歳・20歳代	7.7	0.0	7.7	7.7	53.8	0.0	23.1	13
30歳代	12.5	0.0	25.0	0.0	53.1	0.0	9.4	32
40歳代	17.1	0.0	11.4	4.3	55.7	2.9	8.6	70
50歳代	25.5	2.0	12.7	4.9	39.2	1.0	14.7	102
60歳代	34.1	1.9	12.0	3.7	34.8	1.1	12.4	267
70歳代	36.3	0.8	10.4	1.3	31.7	1.7	17.9	240
80歳以上	40.2	1.0	10.8	1.0	30.4	3.9	12.7	102

7）持ち家の売却・貸与する際に必要と考える支援（持ち家に居住する人）

問３の①で「１」「２」を選んだ方（持ち家の方）にお聞きします。
⑧現在の持ち家を売却、貸与したり、空き家にすることになった場合、必要と考えられる支援は何ですか。【○はいくつでも】

■　持ち家の売却・貸与する際に必要と考える支援については、「空き家バンク等による買い手・借り手への情報提供」が 26.4%で最も多く、「住まいの売却・貸与に関するセミナーの開催、必要な情報の発信」(23.6%)、「売却・貸与に向けた住まいのリフォーム等への経済的支援」(21.9%)がつづいています。
一方で、「必要な支援がわからない」とする人も 19.5%となっています。

（複数回答）



■　将来的な持ち家の対処方法別で持ち家の売却・貸与する際に必要と考える支援をみると、ほとんどの対象方法（「特に考えていない・わからない」も含む）で「空き家バンク等による買い手・借り手への情報提供」が最も多くなっていますが、対処方法によって必要と考える支援も異なっています。
特に、「第三者に賃貸住宅として貸し出したい」とする人では「空き家バンク等による買い手・借り手への情報提供」、「第三者に売却したい」とする人では「空き家バンク等による買い手・借り手への情報提供」と「住まいの売却・貸与に関するセミナーの開催、必要な情報の発信」が他の支援と比べて多くなっており、支援へのニーズが明確になっていることがうかがえます。

【持ち家の売却・貸与する際に必要と考える支援（全体・将来的な持ち家の対処方法別）】

	住まいの売却・貸与に関するセミナーの開催、必要な情報の発信	売却・貸与に向けた住まいのリフォーム等への経済的支援	空き家の管理や活用、リフォーム等に関する相談窓口の設置	空き家バンク等による買い手・借り手への情報提供	その他	必要な支援がわからない	不明・無回答	回答者数
全体	23.6	21.9	19.1	26.4	5.0	19.5	21.3	832
子どもや親族に売却、賃貸、譲渡したい	26.6	27.8	27.0	26.6	4.9	17.1	12.2	263
第三者に賃貸住宅として貸し出したい	20.0	10.0	30.0	80.0	10.0	10.0	0.0	10
第三者に売却したい	37.6	25.7	10.9	39.6	5.0	17.8	3.0	101
自身が定期的に利用したい	29.2	12.5	25.0	29.2	0.0	16.7	25.0	24
特に考えていない・わからない	25.0	24.3	21.1	28.9	5.3	28.9	9.9	304
その他	7.1	14.3	7.1	35.7	42.9	14.3	14.3	14

■　年齢層別で将来的に現在の持ち家をどうするかをみると、50 歳代以下では「売却・貸与に向けた住まいのリフォーム等への経済的支援」、60～70 歳代では「空き家バンク等による買い手・借り手への情報提供」、80 歳以上では「必要な支援がわからない」が最も多くなっています。

また、「住まいの売却・貸与に関するセミナーの開催、必要な情報の発信」では 60 歳代、売却・貸与に向けた住まいのリフォーム等への経済的支援」では 50 歳代が、他と比べて多くなっています。

【持ち家の売却・貸与する際に必要と考える支援（全体・年齢層別）】

	住まいの売却・貸与に関するセミナーの開催、必要な情報の発信	売却・貸与に向けた住まいのリフォーム等への経済的支援	空き家の管理や活用、リフォーム等に関する相談窓口の設置	空き家バンク等による買い手・借り手への情報提供	その他	必要な支援がわからない	不明・無回答	回答者数
全体	23.6	21.9	19.1	26.4	5.0	19.5	21.3	832
18・19歳・20歳代	15.4	30.8	7.7	15.4	0.0	23.1	23.1	13
30歳代	18.8	31.3	21.9	25.0	0.0	31.3	9.4	32
40歳代	21.4	28.6	18.6	28.6	1.4	27.1	10.0	70
50歳代	27.5	36.3	22.5	22.5	3.9	16.7	14.7	102
60歳代	31.5	24.0	22.5	34.1	5.2	17.6	16.9	267
70歳代	18.8	13.3	19.2	21.7	5.4	17.5	30.8	240
80歳以上	14.7	10.8	7.8	20.6	9.8	23.5	28.4	102

４．コミュニティとの関わりや意識等について

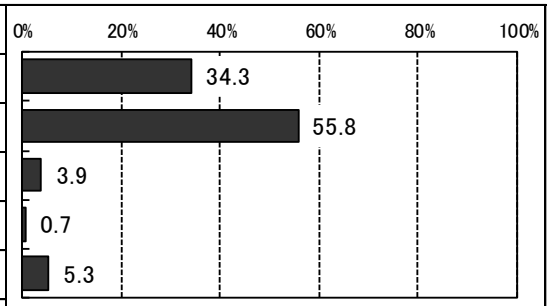
問４　来るべき人口減少・超高齢社会に対応するためには、地域のコミュニティ力を維持・強化することが課題となります。そこで、豊能町で地域のつながり・交流をつくり、深めていくため、あなたの意識などをお教えください。

１）地域のつながり・交流についての考え

①地域のつながり・交流についてどうお考えですか。【○は１つ】

■　地域のつながり・交流についてどう考えているかについては、「ある程度必要だと思う」が 55.8%で最も多く、「とても必要だと思う」(34.3%)、「あまり必要だと思わない」(3.9%)がつづいており、必要と考える人（「とても必要だと思う」もしく「ある程度必要だと思う」と回答した人）は 90.1%となっています。

区分	
とても必要だと思う	(n=309)
ある程度必要だと思う	(n=502)
あまり必要だと思わない	(n=35)
必要だと思わない	(n=6)
不明・無回答	(n=48)
全体	(n=900)



■　年齢層別で地域のつながり・交流についてどう考えているかをみると、全ての年齢層で「ある程度必要だと思う」が最も多くなっており、年齢に関係なく、多くの住民が地域のつながり・交流の必要性を認識していることがうかがえます。

一方、「必要だと思わない」では 30 歳代以下が 40 歳代以上と比べて多くなっています。

【地域のつながり・交流についてどう考えているか（全体・年齢層別）】

	とても必要だと思う	ある程度必要だと思う	あまり必要だと思わない	必要だと思わない	不明・無回答	地域のつながり等が必要と考える人	回答者数
全体	34.3	55.8	3.9	0.7	5.3	90.1	900
18・19歳・20歳代	38.9	44.4	8.3	5.6	2.8	83.3	36
30歳代	28.9	57.8	2.2	8.9	2.2	86.7	45
40歳代	29.1	62.0	7.6	0.0	1.3	91.1	79
50歳代	30.8	62.6	1.9	0.0	4.7	93.5	107
60歳代	36.3	54.9	5.5	0.0	3.3	91.2	273
70歳代	36.1	52.9	2.5	0.0	8.6	88.9	244
80歳以上	34.5	55.5	0.9	0.0	9.1	90.0	110

■　世帯別で地域のつながり・交流についてどう考えているかをみると、子育て世帯の人や高齢者ひとり暮らしの人、高齢者夫婦のみ世帯の人でも「ある程度必要だと思う」が最も多くなっています。

また、「とても必要だと思う」では乳幼児の子どもがいる人が 41.9%で、他より多くなっています。

【地域のつながり・交流についてどう考えているか（全体・世帯別）】

	とても必要だと思う	ある程度必要だと思う	あまり必要だと思わない	必要だと思わない	不明・無回答	地域のつながり等が必要と考える人	回答者数
全体	34.3	55.8	3.9	0.7	5.3	90.1	900
子育て世帯	36.1	57.4	2.8	0.9	2.8	93.5	108
乳幼児（就学前）がいる	41.9	53.5	0.0	2.3	2.3	95.3	43
小学生の子どもがいる	36.0	56.0	4.0	2.0	2.0	92.0	50
中学生の子どもがいる	29.2	66.7	4.2	0.0	0.0	95.8	24
高校生等の子どもがいる	36.7	56.7	3.3	0.0	3.3	93.3	30
高齢者ひとり暮らし	36.1	47.2	5.6	0.0	11.1	83.3	36
高齢者夫婦のみ世帯	37.3	54.5	2.7	0.0	5.4	91.9	407

■　転入経験者について、転入後の期間別で地域のつながり・交流についてどう考えているかをみると、期間に関係なく「ある程度必要だと思う」が最も多くなっています。また、１年以上３年未満の人では同値で「とても必要だと思う」が最も多くなっています。

一方で、転入後の期間が１年未満の人では「あまり必要だと思わない」と「必要だと思わない」が１年以上の人と比べて多くなっており、地域のつながり等が必要と考える人も転入後期間が１年未満では少なくなっています。

【地域のつながり・交流についてどう考えているか（転入経験者全体・転入後の期間別）】

	とても必要だと思う	ある程度必要だと思う	あまり必要だと思わない	必要だと思わない	不明・無回答	地域のつながり等が必要と考える人	回答者数
全体	34.3	55.8	3.9	0.7	5.3	90.1	900
1年未満	11.1	55.6	22.2	11.1	0.0	66.7	9
1年以上3年未満	42.9	42.9	0.0	0.0	14.3	85.7	14
3年以上5年未満	40.0	52.0	4.0	0.0	4.0	92.0	25
5年以上10年未満	33.3	63.6	0.0	3.0	0.0	97.0	33
10年以上20年未満	36.8	53.0	4.3	0.9	5.1	89.7	117
20年以上	34.1	57.3	3.8	0.4	4.5	91.4	558

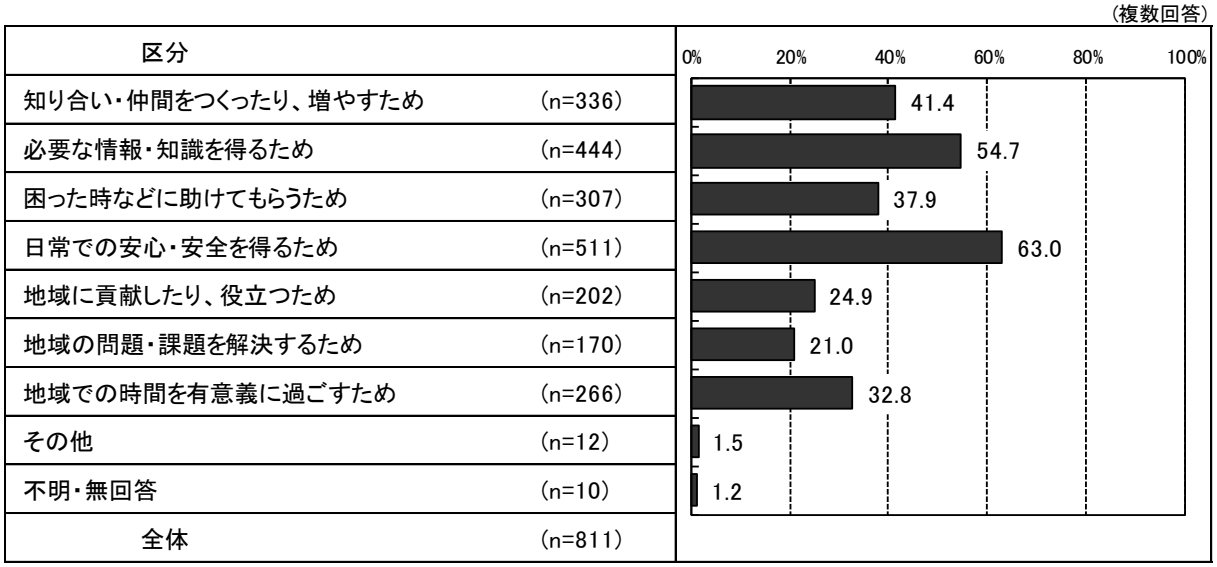
２）地域のつながり・交流を持つ・持ちたい目的（地域のつながり等が必要と考える人）

問４の①で「１」「２」を選んだ方（地域のつながり等が必要と考える方）にお聞きします。
②あなたが、地域のつながり・交流を持つ、もしくは持ちたい目的は何ですか。【○はいくつでも】

■　地域のつながり・交流を持つ・持ちたい目的については、「日常での安心・安全を得るため」が 63.0%で最も多く、「必要な情報・知識を得るため」(54.7%)、「知り合い・仲間をつくったり、増やすため」(41.4%)がつづいており、受動的な目的（安心・安全を得る、情報・知識を得る）が上位を占めています。

一方、「地域に貢献したり役立つため」(24.9%)や「地域の問題・課題を解決するため」(21.0%)といった能動的な目的については、20%台で下位に留まっています。

（複数回答）



■　年齢層別で地域のつながり・交流を持つ・持ちたい目的をみると、18・19 歳・20 歳代では「困ったときなどに助けてもらうため」、30 歳代と 50 歳代以上では「日常での安心・安全を得るため」、40 歳代では「必要な情報・知識を得るため」が最も多くなっています。

また、「知り合い・仲間をつくったり、増やすため」では、30 歳代以下で 50%以上となっており、40 歳代以上と比べて多くなっています。また、「地域に貢献したり役立つため」や「地域の問題・課題を解決するため」「地域での時間を有意義に過ごすため」では、50～60 歳代が他と比べて多くなっています。

【地域のつながり・交流を持つ・持ちたい目的（全体・年齢層別）】

	知り合い・仲間をつくったり、増やすため	必要な情報・知識を得るため	困った時などに助けてもらうため	日常での安心・安全を得るため	地域に貢献したり、役立つため	地域の問題・課題を解決するため	地域での時間を有意義に過ごすため	その他	不明・無回答	回答者数
全体	41.4	54.7	37.9	63.0	24.9	21.0	32.8	1.5	1.2	811
18・19歳・20歳代	56.7	53.3	80.0	66.7	13.3	20.0	16.7	3.3	0.0	30
30歳代	59.0	41.0	48.7	61.5	7.7	15.4	23.1	0.0	0.0	39
40歳代	41.7	61.1	37.5	52.8	23.6	15.3	27.8	4.2	2.8	72
50歳代	41.0	52.0	39.0	64.0	23.0	24.0	38.0	1.0	0.0	100
60歳代	43.4	62.7	36.5	65.5	36.5	24.9	40.2	0.4	0.8	249
70歳代	37.8	48.8	33.2	66.4	22.6	20.7	31.8	1.4	1.4	217
80歳以上	33.3	49.5	34.3	56.6	14.1	15.2	23.2	3.0	3.0	99

■　世帯別で地域のつながり・交流を持つ・持ちたい目的をみると、子育て世帯の人や高齢者ひとり暮らしの人、高齢者夫婦のみ世帯の人でも「日常での安心・安全を得るため」が最も多くなっています。

　また、「知り合い・仲間をつくったり、増やすため」では乳幼児の子どもがいる人が 68.3%で、他より多くなっています。さらに、「地域に貢献したり、役立つため」では中学生の子どもがいる人、「地域の問題・課題を解決するため」は高校生の子どもがいる人、「地域での時間を有意義に過ごすため」では中学生・高校生の子どものいる人が、他と比べて多くなっており、子どもの年齢とともに、能動的な目的を持つ人が増えていることがうかがえます。

【地域のつながり・交流を持つ・持ちたい目的（全体・世帯別）】

	知り合い・仲間をつくったり、増やすため	必要な情報・知識を得るため	困った時などに助けてもらうため	日常での安心・安全を得るため	地域に貢献したり、役立つため	地域の問題・課題を解決するため	地域での時間を有意義に過ごすため	その他	不明・無回答	回答者数
全体	41.4	54.7	37.9	63.0	24.9	21.0	32.8	1.5	1.2	811
子育て世帯	54.5	52.5	41.6	59.4	18.8	18.8	28.7	3.0	1.0	101
乳幼児（就学前）がいる	68.3	53.7	43.9	70.7	7.3	17.1	29.3	0.0	0.0	41
小学生の子どもがいる	52.2	56.5	43.5	56.5	23.9	10.9	23.9	2.2	2.2	46
中学生の子どもがいる	43.5	47.8	30.4	52.2	34.8	21.7	34.8	4.3	0.0	23
高校生等の子どもがいる	46.4	60.7	39.3	57.1	21.4	28.6	39.3	3.6	0.0	28
高齢者ひとり暮らし	40.0	43.3	30.0	70.0	13.3	10.0	23.3	0.0	6.7	30
高齢者夫婦のみ世帯	36.9	53.7	32.4	63.4	27.5	21.7	34.5	1.6	1.3	374

３）地域のつながり・交流づくりに向けて参加・参画・利用したい取組・場（地域のつながり等が必要と考える人）

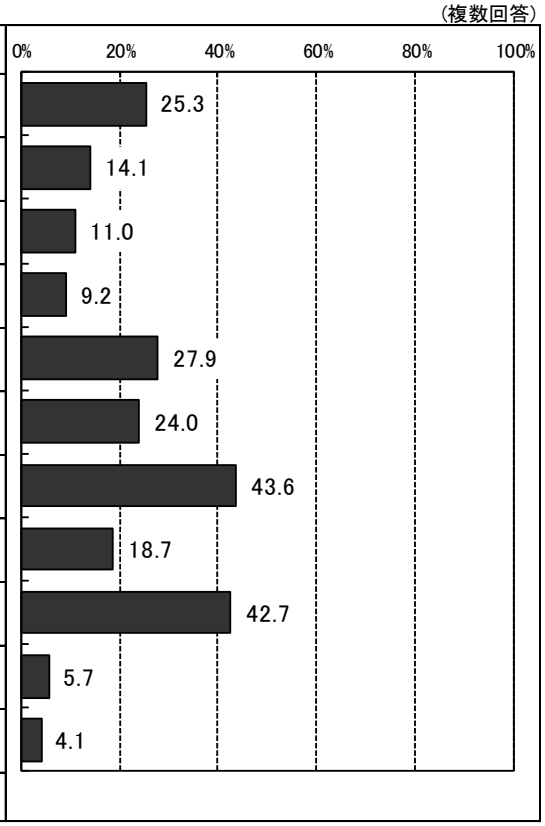
問４の①で「１」「２」を選んだ方（地域のつながり等が必要と考える方）にお聞きします。
③地域のつながり・交流づくりに結びつく「取組」「場」について、あなたが参加・参画・利用したいものはどれですか。【○はいくつでも】

■　地域のつながり・交流づくりに向けて参加・参画・利用したい取組・場については、「地域でのスポーツ・趣味・娯楽活動、サークル活動」が 43.6%で最も多く、「誰もが自由に過ごせ、交流できる場」(42.7%)、「近所同士が知り合いになれるような取組・場」(27.9%)がつづいており、比較的緩やかにつながるための取組や場が上位２項目を占めています。

また、「近所同士が知り合いになれるような取組・場」が 27.9%で３位に入っており、近所づきあいを促進する取組・場へのニーズもある程度確認できる。

（複数回答）

区分		
地縁団体等（自治会、老人クラブ、子ども会等）の活動	(n=205)	25.3
教育・子育てへの支援の取組・場	(n=114)	14.1
地域での子どもの居場所	(n=89)	11.0
子育て世代の交流のための取組・場	(n=75)	9.2
近所同士が知り合いになれるような取組・場	(n=226)	27.9
地区福祉委員会の活動（見守り・声かけ、ふれあい型サロン・カフェ等）	(n=195)	24.0
地域でのスポーツ・趣味・娯楽活動、サークル活動	(n=354)	43.6
ボランティア・NPO等の活動	(n=152)	18.7
誰もが自由に過ごせ、交流できる場	(n=346)	42.7
その他	(n=46)	5.7
不明・無回答	(n=33)	4.1
全体	(n=811)	



■　年齢層別で地域のつながり・交流づくりに向けて参加・参画・利用したい取組・場をみると、30 歳代以下や 50～60 歳代では「地域でのスポーツ・趣味・娯楽活動、サークル活動」、40 歳代では「地域での子どもの居場所」、70 歳代以上では「誰もが自由に過ごせ、交流できる場」が最も多くなっています。

また、「地域での子どもの居場所」「子育て世代の交流のための取組・場」「子育て世代の交流のための取組・場」といった子ども・子育て世代のための取組・場については 40 歳代以下、「誰もが自由に過ごせ、交流できる場」では 60～70 歳代が、他と比べて多くなっています。

【地域のつながり・交流づくりに向けて参加・参画・利用したい取組・場（全体・年齢層別）】

	地縁団体等（自治会、老人クラブ、子ども会等）の活動	教育・子育てへの支援の取組・場	地域での子どもの居場所	子育て世代の交流のための取組・場	近所同士が知り合いになれるような取組・場	地区福祉委員会の活動（見守り・声かけ、ふれあい型サロン・カフェ等）
全体	25.3	14.1	11.0	9.2	27.9	24.0
18・19歳・20歳代	16.7	36.7	26.7	26.7	30.0	16.7
30歳代	20.5	43.6	51.3	43.6	17.9	15.4
40歳代	15.3	34.7	37.5	29.2	23.6	18.1
50歳代	19.0	16.0	6.0	5.0	28.0	20.0
60歳代	26.5	8.4	4.8	4.8	27.7	26.5
70歳代	30.9	8.3	4.6	5.5	30.4	27.2
80歳以上	28.3	5.1	6.1	0.0	29.3	25.3

	地域でのスポーツ・趣味・娯楽活動、サークル活動	ボランティア・NPO等の活動	誰もが自由に過ごせ、交流できる場	その他	不明・無回答	回答者数
全体	43.6	18.7	42.7	5.7	4.1	811
18・19歳・20歳代	50.0	30.0	40.0	0.0	3.3	30
30歳代	51.3	5.1	15.4	2.6	5.1	39
40歳代	34.7	20.8	30.6	8.3	1.4	72
50歳代	44.0	26.0	37.0	7.0	3.0	100
60歳代	53.4	23.7	51.8	4.4	2.8	249
70歳代	39.6	16.1	47.9	6.5	5.1	217
80歳以上	30.3	5.1	34.3	7.1	7.1	99

■　世帯別で地域のつながり・交流を持つ・持ちたい目的をみると、子育て世帯の人は「地域での子どもの居場所」が最も多くなっています。また、子育て世帯の人に特化してみると、「地域での子どもの居場所」「子育て世代の交流のための取組・場」「子育て世代の交流のための取組・場」といった子ども・子育て世代のための取組・場へのニーズが高く、特に、乳幼児の子どもがいる人では、その傾向が強くなっています。

一方、高齢者ひとり暮らしや高齢者夫婦のみ世帯の人では、「誰もが自由に過ごせ、交流できる場」が最も多くなっています。

【地域のつながり・交流づくりに向けて参加・参画・利用したい取組・場（全体・世帯別）】

	地縁団体等（自治会、老人クラブ、子ども会等）の活動	教育・子育てへの支援の取組・場	地域での子どもの居場所	子育て世代の交流のための取組・場	近所同士が知り合いになれるような取組・場	地区福祉委員会の活動（見守り・声かけ、ふれあい型サロン・カフェ等）
全体	25.3	14.1	11.0	9.2	27.9	24.0
子育て世帯	19.8	47.5	48.5	40.6	22.8	17.8
乳幼児（就学前）がいる	31.7	63.4	70.7	65.9	26.8	24.4
小学生の子どもがいる	13.0	47.8	52.2	28.3	17.4	13.0
中学生の子どもがいる	13.0	34.8	30.4	34.8	17.4	17.4
高校生等の子どもがいる	10.7	17.9	28.6	21.4	32.1	10.7
高齢者ひとり暮らし	33.3	3.3	3.3	0.0	23.3	36.7
高齢者夫婦のみ世帯	29.9	8.3	4.5	4.8	30.7	26.2

	地域でのスポーツ・趣味・娯楽活動、サークル活動	ボランティア・NPO等の活動	誰もが自由に過ごせ、交流できる場	その他	不明・無回答	回答者数
全体	43.6	18.7	42.7	5.7	4.1	811
子育て世帯	43.6	16.8	22.8	5.0	2.0	101
乳幼児（就学前）がいる	43.9	14.6	22.0	0.0	0.0	41
小学生の子どもがいる	45.7	10.9	15.2	4.3	2.2	46
中学生の子どもがいる	56.5	17.4	21.7	8.7	4.3	23
高校生等の子どもがいる	35.7	25.0	35.7	10.7	3.6	28
高齢者ひとり暮らし	30.0	13.3	43.3	6.7	10.0	30
高齢者夫婦のみ世帯	43.9	16.8	48.9	5.9	3.5	374

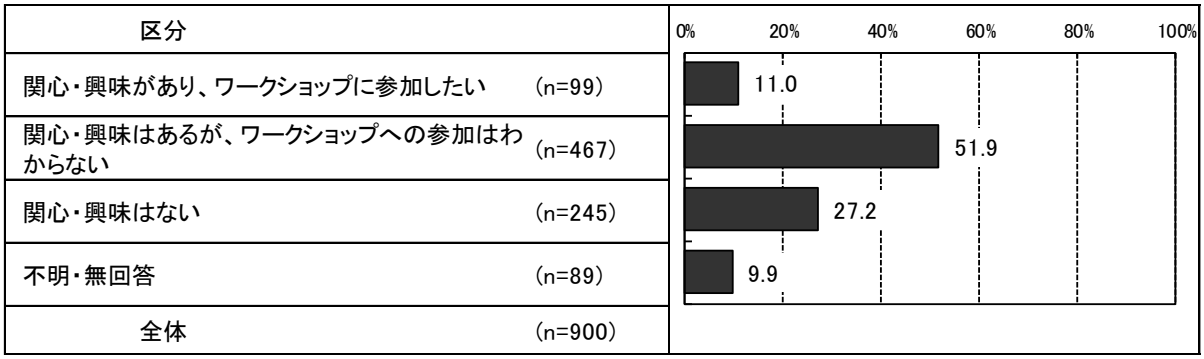
５．地域における「しごと」の創出に関する意識等について

問５　「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼ぶという好循環を生み出していくためにも、町内で新しい「しごと」づくりを進めることが重要となります。そこで、豊能町で地域による地域のためのしごとの創出（例えば、地域課題を解決するためのビジネスの創業・起業支援など）を進めていくため、あなたの意識などをお教えください。

１）地域課題を解決するビジネスの創出に向けたワークショップへの関心

①地域課題を解決するビジネスの創出に向けたワークショップに関心がありますか。【○は１つ】

■　地域課題を解決するビジネスの創出に向けたワークショップへの関心については、「関心・興味はあるが、ワークショップへの参加はわからない」が 51.9%で最も多く、「関心・興味はない」(27.2%)、「関心・興味があり、ワークショップに参加したい」(11.0%)がつづいています。



■　年齢層別で地域課題を解決するビジネスの創出に向けたワークショップへの関心をみると、全ての年齢層で「関心・興味はあるが、ワークショップへの参加はわからない」が最も多くなっています。

また、「関心・興味があり、ワークショップに参加したい」とする人は、40～60 歳代で他より多く、関心・興味がある人も 70%前後を占めていることから、当該年齢層でコミュニティビジネスへの関心・興味が強いことがうかがえます。

【地域課題を解決するビジネスの創出に向けたワークショップへの関心（全体・年齢層別）】

	関心・興味があり、ワークショップに参加したい	関心・興味はあるが、ワークショップへの参加はわからない	関心・興味はない	不明・無回答	関心・興味がある人	回答者数
全体	11.0	51.9	27.2	9.9	62.9	900
18・19歳・20歳代	2.8	38.9	55.6	2.8	41.7	36
30歳代	6.7	57.8	35.6	0.0	64.4	45
40歳代	12.7	54.4	31.6	1.3	67.1	79
50歳代	16.8	57.9	22.4	2.8	74.8	107
60歳代	13.6	57.9	21.6	7.0	71.4	273
70歳代	9.0	45.9	27.9	17.2	54.9	244
80歳以上	6.4	44.5	28.2	20.9	50.9	110

■　職業別で地域課題を解決するビジネスの創出に向けたワークショップへの関心をみると、全ての職業で「関心・興味はあるが、ワークショップへの参加はわからない」が最も多くなっています。

また、「関心・興味があり、ワークショップに参加したい」とする人は、パート・アルバイトで 20.0%と他より多く、関心・興味がある人も 81.1%を占めていることから、パート・アルバイトの人はコミュニティビジネスへの関心・興味が強いことがうかがえます。

【地域課題を解決するビジネスの創出に向けたワークショップへの関心（全体・職業別）】

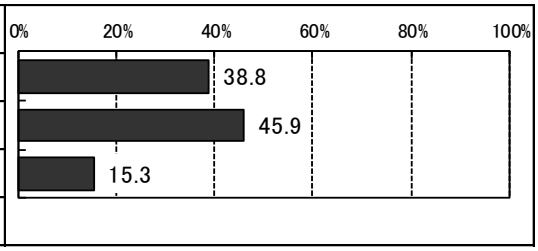
	関心・興味があり、ワークショップに参加したい	関心・興味はあるが、ワークショップへの参加はわからない	関心・興味はない	不明・無回答	関心・興味がある人	回答者数
全体	11.0	51.9	27.2	9.9	62.9	900
農林業（兼業農家含む）	0.0	42.9	57.1	0.0	42.9	7
商工自営業・家族従業者	6.1	57.6	30.3	6.1	63.6	33
会社員・団体職員	14.6	55.3	28.5	1.6	69.9	123
公務員・教員	11.8	52.9	35.3	0.0	64.7	34
専門職（医師、弁護士、芸術家等）	15.2	54.5	24.2	6.1	69.7	33
家事専業	9.2	50.0	27.0	13.8	59.2	196
パート・アルバイト	20.0	61.1	15.8	3.2	81.1	95
派遣・嘱託・契約社員	11.1	55.6	22.2	11.1	66.7	18
学生（予備校生含む）	0.0	53.3	46.7	0.0	53.3	15
無職	8.9	48.6	27.5	15.0	57.5	327
その他	9.1	54.5	36.4	0.0	63.6	11

２）豊能町内での就労意向・働き方

②豊能町内で働くことについてどうお考えですか。【○は１つ】

■　豊能町内での就労意向については、「特に働きたいとは思わない」が 45.9%、「働く場や働くことへの支援があれば働きたい」が 38.8%となっています。

区分	
働く場や働くことへの支援があれば働きたい	(n=349)
特に働きたいとは思わない	(n=413)
不明・無回答	(n=138)
全体	(n=900)



■　性別・年齢層別で豊能町内での就労意向をみると、男性 40～60 歳代と女性 30～50 歳代では、「働く場や働くことへの支援があれば働きたい」が多くなっています。

特に、「働く場や働くことへの支援があれば働きたい」では、男性 40 歳代や女性 30～40 歳代が 70%前後を占めており、他より町内での就労意向が強いことがうかがえます。

【豊能町内での就労意向（全体・性年齢層別）】

		働く場や働くことへの支援があれば働きたい	特に働きたいとは思わない	不明・無回答	回答者数
全体		38.8	45.9	15.3	900
男性	18・19歳・20歳代	37.5	62.5	0.0	8
	30歳代	43.8	50.0	6.3	16
	40歳代	71.4	25.0	3.6	28
	50歳代	60.4	37.7	1.9	53
	60歳代	56.0	38.0	6.0	100
	70歳代	31.4	45.7	22.9	105
	80歳以上	10.9	63.0	26.1	46
女性	18・19歳・20歳代	48.0	48.0	4.0	25
	30歳代	69.2	30.8	0.0	26
	40歳代	71.1	26.7	2.2	45
	50歳代	64.0	28.0	8.0	50
	60歳代	32.2	58.0	9.8	143
	70歳代	13.6	52.4	34.0	103
	80歳以上	13.0	58.7	28.3	46

■　職業別で豊能町内での就労意向をみると、パート・アルバイトや派遣・嘱託・契約社員、会社員・団体職員などで「働く場や働くことへの支援があれば働きたい」が多くなっています。

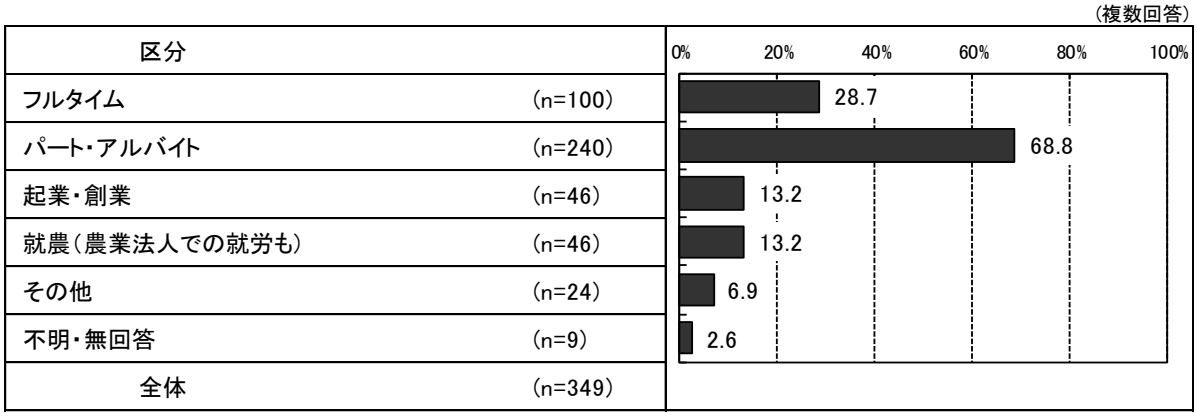
【豊能町内での就労意向（全体・職業別）】

	働く場や働くことへの支援があれば働きたい	特に働きたいとは思わない	不明・無回答	回答者数
全体	38.8	45.9	15.3	900
農林業（兼業農家含む）	42.9	14.3	42.9	7
商工自営業・家族従業者	33.3	51.5	15.2	33
会社員・団体職員	61.0	34.1	4.9	123
公務員・教員	58.8	38.2	2.9	34
専門職（医師、弁護士、芸術家等）	48.5	45.5	6.1	33
家事専業	24.5	59.7	15.8	196
パート・アルバイト	80.0	17.9	2.1	95
派遣・嘱託・契約社員	66.7	22.2	11.1	18
学生（予備校生含む）	26.7	66.7	6.7	15
無職	24.2	50.8	25.1	327
その他	18.2	72.7	9.1	11

問５の②で「１．働く場や働くことへの支援があれば働きたい」を選んだ方にお聞きします。
③町内で希望する働き方は。【○はいくつでも】

■　豊能町内での就労意向がある人について、希望する働き方をみると、「パート・アルバイト」が 68.8%で最も多く、「フルタイム」が 28.7%、「起業・創業」と「就農（農業法人での就労も）」がともに 13.2%となっています。

（複数回答）



■　町内での就労意向がある人について、性別・年齢層別で希望する働き方をみると、男性 50 歳代以下と女性 18・19・20 歳代では「フルタイム」、男性 50～70 歳代と女性 30～70 歳代では「パート・アルバイト」、男性 80 歳代では「起業・創業」、女性 80 歳代では「その他」が最も多くなっています。

また、「フルタイム」では男性 50 歳代以下と女性 30 歳代以下、「起業・創業」では男性 40～50 歳代・80 歳以上と女性 18・19 歳・20 歳代、「就農」では男性 80 歳以上で、他よりニーズが多くなっています。

【豊能町内での希望する働き方（豊能町内での就労意向がある人全体・性年齢層別）】

		フルタイム	パート・アルバイト	起業・創業	就農（農業法人での就労も）	その他	不明・無回答	回答者数
全体		28.7	68.8	13.2	13.2	6.9	2.6	349
男性	18・19歳・20歳代	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3
	30歳代	57.1	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	7
	40歳代	60.0	40.0	50.0	25.0	5.0	0.0	20
	50歳代	56.3	56.3	25.0	6.3	0.0	0.0	32
	60歳代	19.6	75.0	8.9	21.4	7.1	3.6	56
	70歳代	9.1	72.7	6.1	15.2	12.1	6.1	33
	80歳以上	0.0	20.0	60.0	40.0	20.0	0.0	5
女性	18・19歳・20歳代	83.3	66.7	25.0	8.3	0.0	0.0	12
	30歳代	55.6	72.2	11.1	5.6	0.0	0.0	18
	40歳代	37.5	65.6	9.4	6.3	3.1	9.4	32
	50歳代	28.1	78.1	12.5	6.3	0.0	0.0	32
	60歳代	6.5	89.1	4.3	8.7	6.5	0.0	46
	70歳代	0.0	78.6	0.0	21.4	7.1	7.1	14
	80歳以上	16.7	33.3	0.0	16.7	50.0	0.0	6

■　町内での就労意向がある人について、職業別で希望する働き方をみると、ほとんど職業で「パート・アルバイト」が最も多くなっていますが、農林業では「就農」、会社員・団体職員では「フルタイム」が最も多くなっています。

【豊能町内での希望する働き方（全体・職業別）】

	フルタイム	パート・アルバイト	起業・創業	就農（農業法人での就労も）	その他	不明・無回答	回答者数
全体	28.7	68.8	13.2	13.2	6.9	2.6	349
農林業（兼業農家含む）	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	3
商工自営業・家族従業者	36.4	54.5	36.4	18.2	18.2	0.0	11
会社員・団体職員	61.3	46.7	21.3	16.0	1.3	1.3	75
公務員・教員	50.0	65.0	25.0	10.0	0.0	5.0	20
専門職（医師、弁護士、芸術家等）	25.0	50.0	25.0	25.0	6.3	0.0	16
家事専業	16.7	77.1	4.2	10.4	12.5	6.3	48
パート・アルバイト	22.4	88.2	10.5	9.2	3.9	2.6	76
派遣・嘱託・契約社員	8.3	66.7	8.3	0.0	16.7	8.3	12
学生（予備校生含む）	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4
無職	6.3	77.2	5.1	15.2	10.1	1.3	79
その他	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	2

６．豊能町の現状について

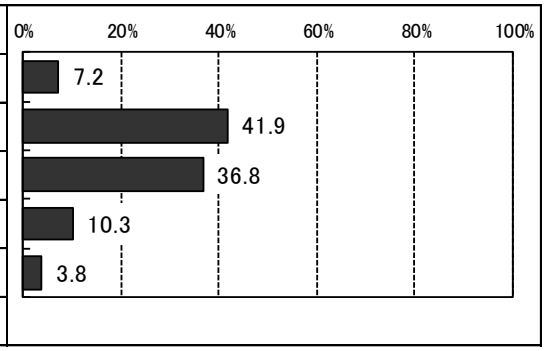
問６　豊能町の現状についてのあなたのお考えをお教えください。【①～⑬でそれぞれ○は１つ】

１）行政サービスに関する情報提供について

①豊能町の行政サービスなどに関する情報はよく伝わっていると思いますか。

■　行政サービスなどに関する情報はよく伝わっていると思うかについては、「ある程度思う」が 41.9%で最も多く、「あまり思わない」(36.8%)、「思わない」(10.3%)がつづいており、行政サービスに関する情報が伝わっていると思う人（「思う」もしく「ある程度思う」と回答した人）は 49.1%となっています。

区分	
思う	(n=65)
ある程度思う	(n=377)
あまり思わない	(n=331)
思わない	(n=93)
不明・無回答	(n=34)
全体	(n=900)

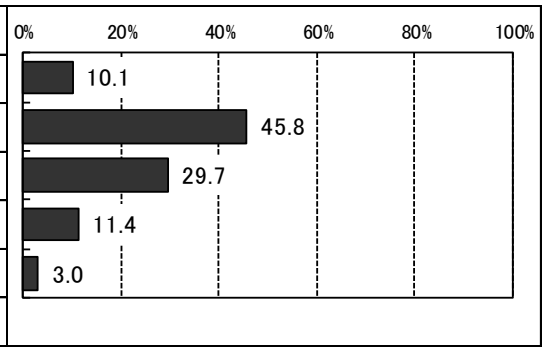


２）地域活動への参加意向について

②今後、地域の活動に参加したいと思いますか。

■　今後、地域の活動に参加したいと思うかについては、「ある程度思う」が 45.8%で最も多く、「あまり思わない」(29.7%)、「思わない」(11.4%)がつづいており、地域活動への参加意向がある人（「思う」もしく「ある程度思う」と回答した人）は 55.9%となっています。

区分	
思う	(n=91)
ある程度思う	(n=412)
あまり思わない	(n=267)
思わない	(n=103)
不明・無回答	(n=27)
全体	(n=900)

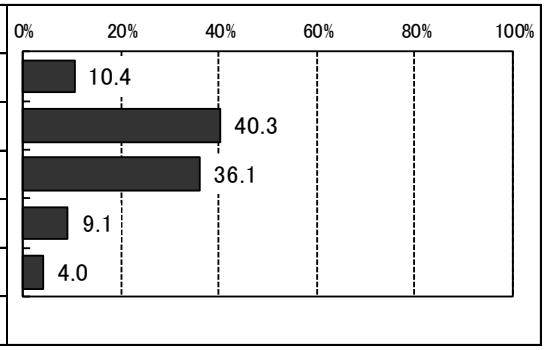


３）居住地域における地域行事・活動について

③お住まいの地域では、地域行事・活動が活発に行われていると思いますか。

■　居住地域で地域行事・活動が活発に行われていると思うかについては、「ある程度思う」が 40.3%で最も多く、「あまり思わない」(36.1%)、「思う」(10.4%)がつづいており、地域行事等が活発であると思う人（「思う」もしく「ある程度思う」と回答した人）は 50.7%となっています。

区分	
思う	(n=94)
ある程度思う	(n=363)
あまり思わない	(n=325)
思わない	(n=82)
不明・無回答	(n=36)
全体	(n=900)

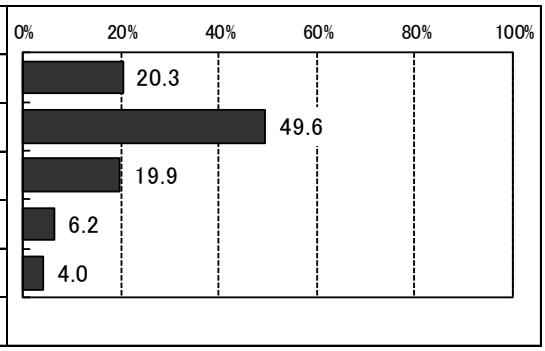


４）役場の窓口対応について

④役場の窓口対応について、適切な対応がなされていると思いますか。

■　役場の窓口対応が適切になされていると思うかについては、「ある程度思う」が 49.6%で最も多く、「思う」(20.3%)、「あまり思わない」(19.9%)がつづいており、窓口対応が適切と思う人（「思う」もしく「ある程度思う」と回答した人）は 69.9%となっています。

区分	
思う	(n=183)
ある程度思う	(n=446)
あまり思わない	(n=179)
思わない	(n=56)
不明・無回答	(n=36)
全体	(n=900)

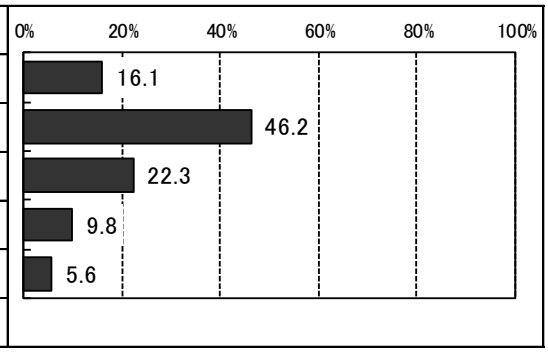


５）子どもを産み育てる環境について

⑤豊能町は安心して子どもを産み育てやすいまちだと思いますか。

■　豊能町は安心して子どもを産み育てやすいまちだと思うかについては、「ある程度思う」が 46.2%で最も多く、「あまり思わない」(22.3%)、「思う」(16.1%)がつづいており、子どもを産み育てやすいまちと思う人（「思う」もしく「ある程度思う」と回答した人）は 62.3%となっています。

区分	
思う	(n=145)
ある程度思う	(n=416)
あまり思わない	(n=201)
思わない	(n=88)
不明・無回答	(n=50)
全体	(n=900)

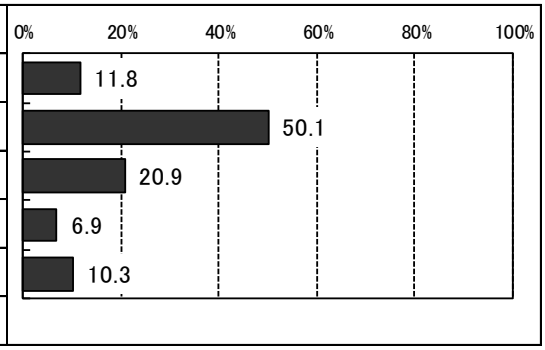


６）学校教育について

⑥豊能町の学校教育は、充実していると思いますか。

■　学校教育が充実していると思うかについては、「ある程度思う」が 50.1%で最も多く、「あまり思わない」(20.9%)、「思う」(11.8%)がつづいており、学校教育が充実していると思う人（「思う」もしく「ある程度思う」と回答した人）は 61.9%となっています。

区分	
思う	(n=106)
ある程度思う	(n=451)
あまり思わない	(n=188)
思わない	(n=62)
不明・無回答	(n=93)
全体	(n=900)

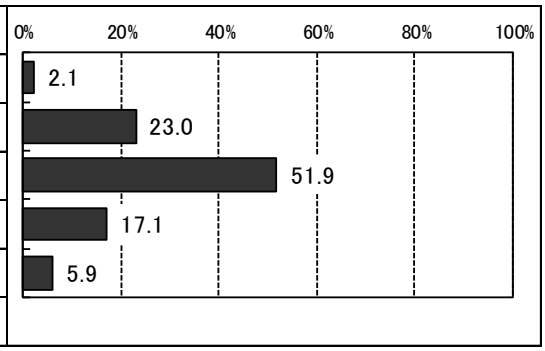


７）地域の歴史や文化の継承について

⑦地域の歴史や文化が住民に継承されていると思いますか。

■　地域の歴史や文化が住民に継承されていると思うかについては、「あまり思わない」が 51.9%で最も多く、「ある程度思う」(23.0%)、「思わない」(17.1%)がつづいており、歴史や文化が継承されていると思う人（「思う」もしく「ある程度思う」と回答した人）は 25.1%となっています。

区分	
思う	(n=19)
ある程度思う	(n=207)
あまり思わない	(n=467)
思わない	(n=154)
不明・無回答	(n=53)
全体	(n=900)

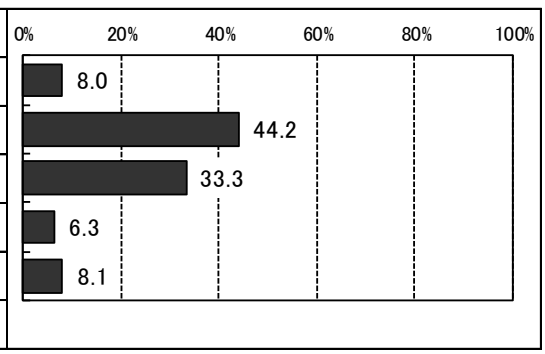


８）人権に関する施策について

⑧豊能町の人権に関する施策は十分に行われていると思いますか。

■　豊能町の人権に関する施策は十分に行われていると思うかについては、「ある程度思う」が 44.2%で最も多く、「あまり思わない」(33.3%)、「思う」(8.0%)がつづいており、人権に関する施策が十分である思う人（「思う」もしく「ある程度思う」と回答した人）は 52.2%となっています。

区分	
思う	(n=72)
ある程度思う	(n=398)
あまり思わない	(n=300)
思わない	(n=57)
不明・無回答	(n=73)
全体	(n=900)

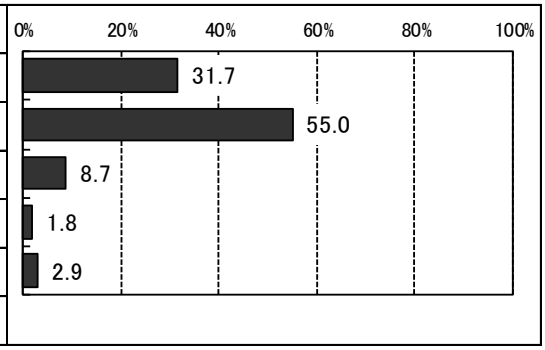


９）ごみの分別について

⑨ごみの分別はしっかりと守られていると思いますか。

■　ごみの分別はしっかりと守られていると思うかについては、「ある程度思う」が 55.0%で最も多く、「思う」(31.7%)、「あまり思わない」(8.7%)がつづいており、ごみの分別が守られている思う人（「思う」もしく「ある程度思う」と回答した人）は 86.7%となっています。

区分	
思う	(n=285)
ある程度思う	(n=495)
あまり思わない	(n=78)
思わない	(n=16)
不明・無回答	(n=26)
全体	(n=900)

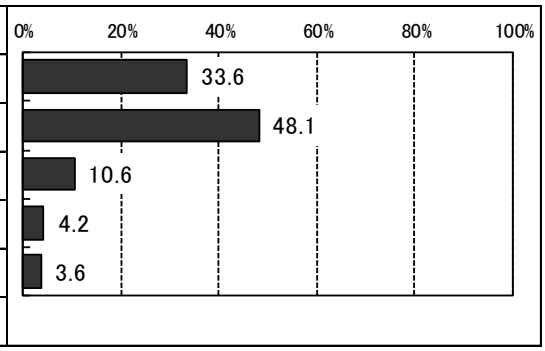


10）自然環境への配慮について

⑩豊能町は自然環境にやさしいまちだと思いますか。

■　豊能町は自然環境にやさしいまちだと思うかについては、「ある程度思う」が 48.1%で最も多く、「思う」(33.6%)、「あまり思わない」(10.6%)がつづいており、自然環境にやさしいまちと思う人（「思う」もしく「ある程度思う」と回答した人）は 81.7%となっています。

区分	
思う	(n=302)
ある程度思う	(n=433)
あまり思わない	(n=95)
思わない	(n=38)
不明・無回答	(n=32)
全体	(n=900)

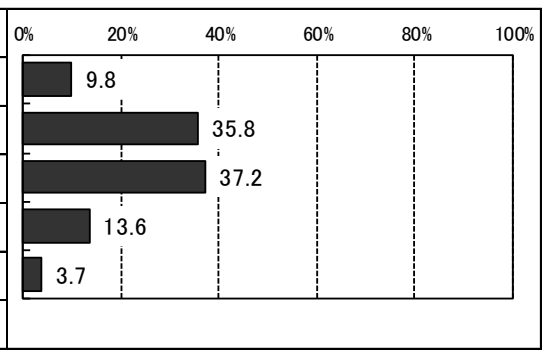


11）高齢者の生活環境について

⑪豊能町は高齢者が生きがいを持ち、健康に暮らせる環境だと思いますか。

■　豊能町は高齢者が生きがいを持ち、健康に暮らせる環境だと思うかについては、「「あまり思わない」が 37.2%で最も多く、「ある程度思う」(35.8%)、「思わない」(13.6%)がつづいており、高齢者の生きがい・健康が確保できる環境だと思う人（「思う」もしく「ある程度思う」と回答した人）は 45.6%となっています。

区分	
思う	(n=88)
ある程度思う	(n=322)
あまり思わない	(n=335)
思わない	(n=122)
不明・無回答	(n=33)
全体	(n=900)

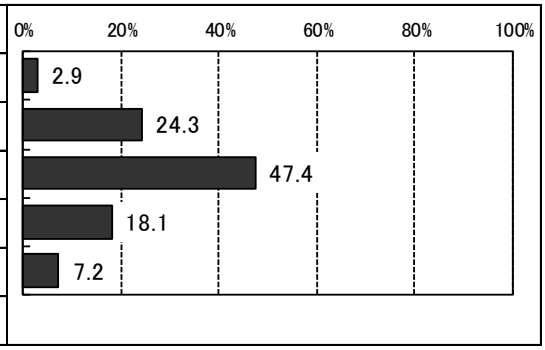


12）障害者の生活環境について

⑫豊能町は障害者の方が自立した生活を送り、社会参加しやすい環境だと思いますか。

■　豊能町は障害者の方が自立した生活を送り、社会参加しやすい環境だと思うかについては、「あまり思わない」が 47.4%で最も多く、「ある程度思う」(24.3%)、「思わない」(18.1%)がつづいており、障害者の自立・社会参加が確保できる環境だと思う人（「思う」もしく「ある程度思う」と回答した人）は 27.2%となっています。

区分	
思う	(n=26)
ある程度思う	(n=219)
あまり思わない	(n=427)
思わない	(n=163)
不明・無回答	(n=65)
全体	(n=900)

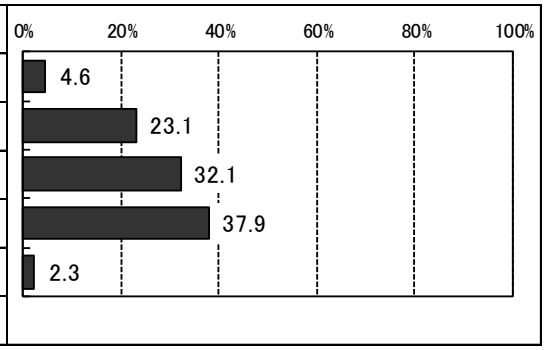


13）公共交通機関について

⑬お住まいの地域のバスや鉄道などの公共交通機関は充実していると思いますか。

■　地域のバスや鉄道などの公共交通機関は充実していると思うかについては、「「思わない」が 37.9%で最も多く、「あまり思わない」(32.1%)、「ある程度思う」(23.1%)がつづいており、公共交通機関が充実している思う人（「思う」もしく「ある程度思う」と回答した人）は 27.7%となっています。

区分	
思う	(n=41)
ある程度思う	(n=208)
あまり思わない	(n=289)
思わない	(n=341)
不明・無回答	(n=21)
全体	(n=900)



7．人口減少に歯止めをかけ、人口減少・超高齢社会に対応していくための具体的なアイデア

問7　豊能町では人口減少に歯止めをかけ、人口減少・超高齢社会に対応していくため、「豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略」及びアクションプランを推進していきます。そこで、「転出の抑制・転入の促進」「住まいの多様化・流通促進」「コミュニティ力の維持・強化」「新しいしごとの創出」などの取り組みについて、何か具体的なアイデアがあればお教えください。

■　自由意見欄の記載は 490 件あり、アクションプランに関する具体的なアイデアのほか、日常生活の課題や、総合戦略の推進に関する意見もありました。ここでは、アンケート集計結果では把握が困難なもの、または内容を補完するものなどを中心に、意見の項目ごとに、抜粋して記載しています。

公共交通関係

① バスの本数が少なくて、子どもにとっては 1 本乗りすごせば遅刻になってしまいます。子どものことを考えると”もっと都会にひっこそう”となってしまうのではないでしょうか？なのでもう少し、通学時間を中心に本数を増やしてみたらどうですか？

② 町外へ行く時の交通費が高い。子供が中学生なった時に大人料金になる。これは当然だと思うが 1、能勢電料金が高い 2、バスでの千里中央に行く料金が高い 3、町内のバスの便が少なく不便であり以前より高くなった。希望ヶ丘に行く便が豊能町内でとどろみで乗りかえる必要が発生し金額も高くなってしまった。

③ 年をとって主人が運転できなくなり、まず買い物にこまっている。おもいものは生協で買うようにしているが急なとき、まず足がない。福祉タクシーもたのめなく本当にこまっている。主人私のぐあいが悪いときもバスではとうてい病院へいけない。といって転居もできず二人で助けあいいきていくしかない。一番に、バス以外のれるものがあると助かります。

④ 幼・小・中は育てやすい環境づくりに取り組まれていると思いますが、お金がかかる高・大のケアが無いように思います。交通費や通学時間がかかりすぎる為子どもの同級生は多数、引越されています。

子育て

① 高齢者にとって階段や坂道の多いこの町は住みにくく、病院も限られている。人口増加や活性化を目指すのであれば、先の短い人口減少にしかつながらない高齢者よりも、子供を産み育てる若い世代にとって魅力ある町になるよう対策をとった方が、効果的と思われる。今は共働きが当然となってきている中、女性が働く事を批判する住民や仕事を子育ての両立を支えない行政では若い世代は来ない。

② たくさんの人口にするために子どもを産み育てやすいお金を支援してほしいです。みんな 30 代の人は産めるなら３人は産みたいと思っています。

③ 若い人が住んでもらえる様に土地等を企業などに使ってもらい働く人を増やすべきだと思う。中学校の給食などから見ても、もっと子供にお金を出すべきだと思う。今の中学生はこの町で子育てしたいと思わないと思う。子供時代に大切にしてもらってこそまた町に戻ってこようと思うのでは？
　大阪市の様に企業的な考え方で豊能町に利益がある方法を考えてほしい。

コミュニティ・つどい

① あまりにも濃すぎるというか強すぎる絆は今の時代に合わない。たとえば葬式を出すと、となり組の人が台所に入り料理を作るようなコミュニティは苦手である。昔の強すぎる人間関係を復活させるのではなく、平素はそれぞれの自立した生活が送れ、たとえばボランティア活動などで「あの人知っている」

いざとなれば助けあうというような「ゆるやかな人間関係」でつながれているコミュニティが望ましい。

② 若い人の子供、0才から幼稚園へ出るまでの間コミュニケーションが足りない。孤立した人もあるのでそこを大事にして欲しい。年配、高齢者については（福祉委員になりたてなので少し判ってきた）陽の当たらない、出ている人は老人会などに出るが、出ない老人がいる。もっと積極的に老人の会（ある会）へ出すべきである。そうするとぼけ老人、孤立化しないでホームに入ることがなくなる。

③ コミュニティの維持に関して。集う人がそれぞれ出来る事で力を出し合いコミュニティ管理に携わっていくのはどうでしょうか、町全体も良いのですが年と共に近くに（丁目ごと）憩える場所が有るのが行きやすくうれしいです　豊能町みんなが挨拶しあえる町になるといいですね。

④ 公園や広場があっても限られたグループに占領されている。新入者歓迎とあってもそんな雰囲気ではない。悪く云えば私物化している様子。

⑤ 「つどう」為には必ず利便性が必要です。どの地域に住んでいる方でもスーパーやお医者さんにいくための「足」が大切だと。何か企画するという事も大事ですがバスをもう少し多くするとか「出掛けたくなるコミュニティ」と出掛ける事のできる環境が必要だと。働き世代も交通の利便性は通勤の際必要です。

⑥ 友人間で豊能町から出たいと言う人はだいたいの理由が「都会に遠い」というものです。新光風台在住の為、まだ電車が通っていて便利な地域ですが、それでも不満の声はよく聞きます。そういった話を聞くと、もっと豊能町にもカフェや食事をする場を設け、豊能町から出なくても友人と交流できる場があるといいのではと思います。都会にあるものが当り前にあり、なおかつ豊能町にしかないものがあればもっと地元への定着もあるのではと思います。

⑦ 新光風台のダムの見える場所は夕日がきれいですので、カフェをつくれば（２階をカフェ、１階を物産店にすれば）人が集まるのでは？又、シートス近くにも地元の物産を使った物でカフェを作れば人が集まるのでは。学力を伸ばす英語科などを小学校より以前の幼稚園で作り、「豊能町に住むと学力ＵＰにつながる」と宣伝してみては？

⑧ 自治会活動の第三者依託（若年層には自治会活動に費やす時間がない）。

しごとの創出

① 若い家族に住んでもらうには投資を考えて本気度を伝える事。仕事の創出は結構ですが簡単にはいきません。通勤圏内で仕事をするにも子供の保育に色々壁があっても問題。アジュールの空き店舗を駅前保育園にするなど寂れた駅前でほっておくより活気が出ると思う。町内を小型バスできめこまかく廻してほしい。老人が友人を訪ねる事も出来なくなっています。人が動いていません。本気で取りくんで下さい。

② ①企業や大学の研究場所（農業関係など）を提供する。②近隣企業の社員に対する行政サービス（町民税軽減など）を行う、いずれにしても、ゼロから生み出すのは難しいと思うので、周囲とのつながりを作る方がいいと思います。

③ 豊能町には職場が少ないので、今後も人口増は望めないと思う。ただ、可能性があるとすれば、家を出なくても仕事が出来るようにインターネットを公費で充実することだと思う。家でプラグを入れたらネットにつながりＰＣ上で仕事ができるようにする。それができなければ仕事のために町を出て行く。

④ 「新しいしごと創出」について。豊能町は高齢者が多い他に、他地域と比べ専業主婦が多いと思います。保育所に預けてまで働きたくない、あるいは働く場所がないという理由が多いと思います。子連れで働けるデイサービス、福祉施設等子連れで働ける場所があればコミュニティ力も高まるし、しごとも創出され話題にもなっていいのではないでしょうか。ネットで「ワタナベ・Ｊ・フォックス」という自

信が運営している赤ちゃんのいる老人介護デイサービスについて書いています。
https://note.mu/jjp/n/na9814f71cecd

⑤　使っていない施設や土地を利用して、みんなが交流できる場を提供してほしい。特に、高齢者などで、自分で野菜等をつくっている方もたくさんおられる。あるいは、自分で作ったパンやお菓子など「道の駅」のように、販売できる場をつくってあげれば、もっと活性化すると思う。

⑥　人が住みたいと思うのは、他に比べて優れているか、別の個性を有していることにあるように思います。日本の人口は東京及びその周辺以外は減少、特別の誘致計画をしても夕張や堺のシャープ工場みたいなリスクが残ります。大阪府下で当町は1～2を競う選挙の投票率です。

結果は別にして住民の意識力が、以前は図書の貸し出し率も高かったように思います。その民意を発展さす企画、文化の興隆事業でしょうか。

⑦　①第二名神等道路整備が進むことから企業誘致を図ること。（倉庫、流通業等）〈例：三田、社〉
②地域の特産品を開発すること。（例：とうふ、コンニャク等の産地とするシイタケ栽培等）
③菊炭等の原産地は能勢、川西であり、それが四国等にのびたことからすれば、また、北せつ地域は落葉樹が多いことからその利用を検討すべき。
④松山の四後とまつたけ山の再興

コミュニティ、ビジネス、ソーシャルビジネス或いはワークショップ等意味不明な論議でなく、誰もが理解できる手法、具体的な総合計画を検討する必要がある。

⑧　特別これといって観光地がないのがどうかと、他の町でやっている様なイルミネーション、マラソンなどの他の人が来やすい事をやってはどうか。余野のファミリーマートは今、バイクの有名地にネット上でなっているみたいなのでバイクはもとより自転車でも休日になると呼んでもいないのにウジャウジャ来るのだからこれを生かさないのはどう考えてももったいないと思いました。

⑨　この町の現状では企業を誘致しようにも無理。住んでいる住民にとっても、不動産の価値の低下は自身の問題なのになすすべもなく・・・と言うのが現状ではないかと思います。ひとくちに起業といってもなかなか難しいし「魅力的な町にする」と言うのも骨の折れる問題です。

私は町の広報誌、出張所、公民館、シートスありとあらゆる町の出先機関に起業のすすめや町のバックアップ体制のあり方を記載したパンフレットを置いたり「他市との合併」を模索する等、今豊能町が出来る可能性のある全てを行う事だと思います。行政の衰退は即町の衰退につながります。この町が元気になりますように！！

担い手

①　豊能町には豊かな森がたくさんあります。個人所有なので勝手に他人の森に入っていけませんが、一方ときわ台地区（西地区）には健康で活力ある人が健康の為にとかぼけない為にとかの理由で囲碁や麻雀など知的ではあるが、社会の富を生み出さない趣味を楽しんでいます。森の保全や登山道づくりなどに老人の力を生かせないかと考えます。

②　役所は脇役。住民が交流できる場の提供が先で、施策がどうだというのは上から思いあがりでしかない。智恵のあるスキルのある人は、町内に多くいらっしゃる。そんな人が前に出られる状況を作るべき。考えの古い行政では、みんないや気がさしていますよ。

総合戦略の推進

① 超高齢社会と言う言葉は存在しない。何歳以上が高齢と言う定義を無くしてプランを考えるべきである。大阪から１時間で車では 40 分。自然に恵まれシースト、図書館の施設も充実。メタボ対策やペット関連や子供見守りウォーキングや多々やるべき事は多い。

② 町にテーマ毎の推進委を設置、例えば年１～２回チラシによる喚起、集団ラジオ体操等によりその機会をとらえ意識づけを行う。

③ 人口減少の認識の根拠が不明。「総合戦略」戦略は総合的なものです。戦術と戦略の区別がついていません。行政や政治担当のビジョンはありますか。・「具体的な施策」は少しも具体的ではありません。企業の戦術策定の時「実施」「促進」「活性化」「整備」などの言葉は意欲がない時の表現です。明確な事業項目をあげて質問を再度して下さい。人口減少は悪いことですか。税収減以外にどんな悪いことがありますか。適正人口を想定することはないのですか。

④ 学校ともよく話しあわれて、小、中学生の意見を聞かれるのもよいのではないですか、子供達のとんでもない意見やアイデアは私達老人よりすばらしいものがあると思いますよ・・・。

⑤ 国内外で転入者若い年代が増える工夫をしている自治体の例を徹底的に調査する。その中から豊能町に適用できそうな情報を住民に知らせる。

豊能町の魅力・資産・資源を最大限活かして新たに魅力を作って周辺地域国内、海外からの観光客を呼びよせるシステム・ビジネスを考える。高齢者（比較的若い）が高齢者を支える仕組みを考える。

高齢者が子育て世代をボランティアで支える仕組みを考える。やり方はいくらでもあると思います。大事なのは今回だけで決めるのではなく継続的に良くするために何をしたらよいのか、役所と住民が一丸となって考えることを続けることです。

どうせやるなら日本一すみやすい”活気ある魅力のある地域にする位の気概でやって欲しいです。

その他

① 人口減少は老令による死亡も多いと思います。今後は次世代の人々の導入を考え若い世帯に転入してもらう。子育て支援は勿論、中・高・大学生の通学費（能勢電だけでも）を半額？補助する。新光、光風台ののせ電利用のエスカレーターをエレベーターにすべき（老人の一人乗り危険、ベビーカーの乗り降りの危険、不便等）バスの増便（坂道が多く大変）近々箕面森町に大学が出来る由宿舎、バスの便、買物、のせ電利用等今から検討を。ここ豊能郡は大阪府内の人も、何処に位置するのかも知られていない状態です。先ず知名度を上げる事。私は、ここ新しい町に来られて天候、（台風も少なく、寒さも暑さも中位春～夏にはウグイスの声で目覚め、環境もばつぐん、老人（シニア）のウォーキングにも参加出来、健康、本当に幸せを感じ、感謝の気持ちです。「ここ豊能郡は、大阪の軽井沢」とアピールして下さい。

これからシニア時代に突入し、やはり問題は医療費の負担（個人も健康保険も）毎日元気に生活して行くには働く事と運動、老令でも働ける場所、内容をそして、東京ドーム運営「シートス」の活用をもっとアピールして出来れば保健婦（士）さんにも参加してもらい、アドバイスしてもらえる日を設定する（家から出たがらない人が多い）。各々の公園にシニア向けの器具を１つでも作って頂ければと思います。

② 自然も多くのどかですごく好きな町です。鳥の声で目ざめた時には最高に幸せです。ですが、真逆に不安も日に日につのります。この地域は好きだけど、ここに住みつづけることは間違いなのか日々悩み家族でもよく話題に上がります。まずは、再就職が大変難しいです。希望の職種、求人があっても交通費で１万まで１万５千円まで多くて２万までという会社が多く、川西くらいまでがギリギリで梅田　西

宮までもなかなか出られません。川西辺りでは選択肢も狭まるし社員の求人はほぼありません。もっと都会に住んでいたらチャンスも広がったのかなと思います。

また、お子さんのいらっしゃる方も高校生、大学生になると通学のために一家で転居されたり、交通費の事を考えて近くの学校に行って！と言っていると良く聞きます。選択肢が狭まると可能性まで夢まで狭まるようで残念です。また、親がより高齢になった時に、池田市立病院などに入院、通院することになると電車に乗れるうちはいいがタクシー移動等が必要になってくるとどれだけ家計の負担になってくるのかなと思うと不安もいっぱいです。ですが高齢になる程この自然の中を散歩させてあげたいし、ここのキレイな空気を吸ってゆったりと生きてほしいと願っております。

大スキなのに生き抜けるのか不安の増す町です。人が増えるような魅力的な町になればいいなと思います。週末だけでも人が集まってくるような施設があったり・・・。森町にできるとウワサのあったアウトレットなど招致できていたら雇用も増えていたと思うし、残念でした。この町だけでは発展できないのであれば、せめて、川西のせロや池田駅前辺りがもっと栄えたら求人も増えるのになあと思う毎日です。

例えば、通勤通学手当などあれば斬新かもしれません。会社が出してくれない分少しでも補助してくれたら、あきらめることも少なくなるのではと思います。高齢者や子どもに対しての手当はあるのに、頑張りたい、頑張れる働き世代に支援があればいいのになと思います。学生さんも通学費を気にせずに行きたい学校に進むことができるし視野も広がり夢も広がると思います。社会人の人たちにも市内まで1時間もかからないのに自然の多いステキな町があることを知り、移住したいと考えた時に通勤補助などあれば住んでみようかなと思ってもらえるかもしれません。友だちたちにも豊能はいい所やけど市内までは遠いなあ～と言われます。距離は縮められないけど補助があれば魅力のきっかけにもなりそうです。また、これからますます高齢化が進むので医療難民にならないためにも町がマイクロバスで住民を乗せて月曜日→池田市民　火曜日→川西市民　など送迎バスを出してくれたりするとずいぶん助かります。

また、川西市民の方に教えていただいたのですが高齢化社会に向けて元気に過ごしてもらうための取り組みとして筑波大学といっしょにプロジェクトをされていて住民の方はすごく喜んでらっしゃいました。おそらく筑波大学のベンチャー企業で「つくばウェルネスリサーチ」複数自治体連携型大規模健幸ポイントプロジェクトというものなのかなと思います。せっかくウォーキングしやすい町なので豊能こそこういった取り組みに参加するべきと思いました。大阪で一番の長寿の町としてでも有名になってほしいですね。

コンビニやゲームセンターカラオケボックスのないこの地域で子ども時代を過せたことは本当に幸せだと思っていますし、私も、この町で子育てできれば本当に心の豊かな子に育つだろうと思い夢でした。谷底にある駅も自虐的ながら友だちにおどろかれ自慢でもありました。いい町だと思います。マスコミにも取り上げてもらえるくらいに斬新なアイデアや取り組みで豊能町の魅力をたくさんの人にまずは、知ってもらいたいですね。期待しております！。